clarion

取扱説明書(本体編)

DrivTrax P50
DrivTrax P55

ドリブトラックスP50/P55

パーソナル ナビゲーション デバイス

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

保証書(別添)は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

改訂: R00

商標

その他のブランドおよび製品名はすべて 各会社の商標または登録商標です。

メモ

このマニュアルに記載された情報は予告なく変更されることがあります。

目　次

1　はじめに....7

1.1　ハードウェア部品を理解する 7
前面部位 7
背面部位 8
右側部位 8
上面部位 9
底面部位 9
1.2　初期起動の実行 10
1.3　AC電源の接続とバッテリの充電 10
1.4　車内での使用 12
カーホルダーの使用 12
カーチャージャーの接続 12
1.5　基本操作 13
電源のオンとオフ 13
本機の操作方法 13
ホーム画面 14
1.6　SD/SDHC/MMCカードの挿入 15

2　ビデオ 17

2.1　ビデオの起動と終了 17
2.2　ビデオファイルを準備する 18
2.3　ビデオファイルを再生する 19
2.4　ビデオ再生コントロール 19

3　オーディオ 21

3.1　オーディオの起動と終了 21
3.2　オーディオファイルを準備する 22
3.3　オーディオファイルを再生する 22
3.4　再生コントロール 23

3.5 プレイリストの編集 24
3.6 イコライザ 26

4 **ピクチャー 27**

4.1 ピクチャーの起動と終了 27
4.2 画像を準備する 27
4.3 画像をサムネール表示する 28
4.4 画像をフルスクリーン表示する 28
4.5 オンスクリーンコントロールボタン 29
4.6 スライドショーの表示 30

5 **セッティング 31**

5.1 セッティングの起動と終了 31
5.2 バックライト 31
5.3 ボリューム 32
5.4 画面 33
5.5 電源 33
5.6 日時 34
5.7 Bluetooth ® 35

6 **Bluetooth®接続 37**

6.1 Bluetoothのプロファイル 37
6.2 Bluetooth携帯電話を接続する 38
はじめて携帯電話を接続する 38
携帯電話の切断と再接続 40
登録した携帯電話を接続する 40
6.3 電話操作 40
電話を発信する 40
電話を受信する 44
通話中の操作 45
6.4 Bluetoothモノラルまたはステレオヘッドセットを接続する 46
はじめてヘッドセットを接続する 46
ヘッドセットの切断と再接続 48
登録したヘッドセットを接続する 48
6.5 ショートカットを使用する 49
6.6 Bluetoothのオン/オフを切り替える 50

7 トラブルシューティングと メンテナンス........51

7.1 本体のリセット........ 51
7.2 トラブルシューティング........ 52
電源の問題........ 52
画面の問題........ 52
接続の問題........ 53
GPSの問題........ 53
7.3 製品本体のメンテナンス........ 54

8 規制情報........55

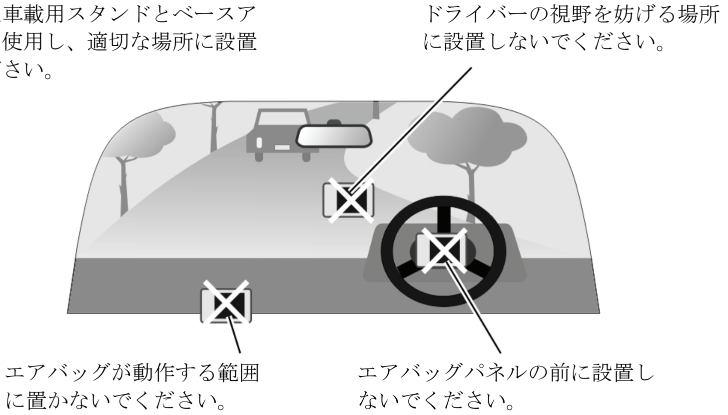
8.1 規制適合声明........ 55
VCCI........ 55
8.2 安全上のご注意........ 55
充電について........ 55
ACアダプタについて........ 56
液晶パネルについて........ 57
バッテリーについて........ 57

取り扱い上の注意

- 安全のため、運転中は製品の操作を行わないでください。
- 製品は注意深く使用してください。製品はナビゲーション目的にのみ使用するようデザインされており、方向、距離、場所、地形などの正確な測定はできません。
- 検索されたルートは参照用に過ぎません。ユーザーの責任において、実際の信号や交通法規に従ってください。
- 直射日光が当たるダッシュボードの上などに製品本体を置いたまま車から離れないでください。バッテリが過熱して、故障や事故の原因になります。
- GPS は米国政府が運営し、その性能の責任を全部負っています。GPS システムの変更はすべての GPS 製品本体の精度に影響を及ぼすことがあります。
- GPS 衛星信号は固体（ガラスを除く）を通過できません。トンネルや建物内では、GPS 測位は利用できません。
- 現在の GPS 位置を決定するには最低 4 つの GPS 衛星信号が必要です。信号の受信状況は、悪天候や上方の（樹木や高層ビルなどの）密集した障害物の影響を受けることがあります。
- 車内の他の無線製品本体が衛星信号の受信を妨害して、受信が不安定になることがあります。
- 本機はナビゲーションおよび Bluetooth®によるワイヤレス音楽再生の機能をもちますが、安全のため、ワイヤレス音楽再生とナビゲーションを同時使用しないでください。

- 車内で本機を使用するにはカーホルダーが必要です。本機はドライバーの視界やエアバッグの動作を妨げないよう適切な場所に設置してください。

弊社純正車載用スタンドとベースアダプタを使用し、適切な場所に設置してください。



- 本機はBluetooth®により携帯電話と接続し通話が可能ですが、周囲の環境や状況により、携帯電話の電波状況が良好であっても通話中に音声が劣化したり途切れる等の支障が出る場合があります。本機の仕様上、特に周囲の雑音が大きくなると、音声は途切れやすくなります。

1 はじめに

1.1 ハードウェア部品を理解する

注意：ご購入いただいたモデルの違いにより、製品本体の色が本書に記載されている製品本体の色と多少異なる場合があります。

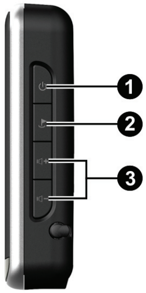
前面部位

番号	部品	説明
❶	タッチスクリーン	製品本体の出力を表示します。指先でスクリーンに触れることで、メニューコマンドの選択や情報の入力ができます。
❷	Bluetooth® インジケータ	青で点滅すると、Bluetooth がオンになっていることを示します。
❸	充電インジケータ	バッテリの充電中はオレンジ色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。
❹	マイク	Bluetoothでハンズフリー通話を行います。

背面部位

番号	部品	説明
❶	スピーカー	音楽および音声を出力します。
❷	スタイラスペン	タッチスクリーンをタップし、アイテムを選択したり、情報を入力したりします。スタイラスペンをスロットから取り出して使用し、使用しないときはスロットに戻しておきます。

右側部位



番号	部品	説明
❶	電源ボタン	本体のオン/オフを切り替えます。
❷	ナビゲーションボタン	ナビゲーションソフトウェアを起動します。プログラム起動中には機能しません。
❸	音量ボタン（＋/－）	本機の音量を調整します。

上面部位

番号	部品	説明
❶	**拡張コネクタ**	このコネクタ（ゴム製ダストカバーの下）は将来の拡張用に準備されたコネクタです。現在は使用しません。
❷	**SD/SDHC/MMCカードスロット**	市販のSD (Secure Digital) , SDHC (Secure Digital High Capacity)やMMC (MultiMediaCard) カードを挿入します。

底面部位

番号	部品	説明
❶	**主電源**	主電源のオン/オフスイッチ
❷	**ヘッドホンコネクタ**	ステレオヘッドホンを接続します。
❸	**ミニUSBコネクタ**	ACアダプタまたはUSBケーブルを接続します。
❹	**リセットボタン**	本体をリセット（ソフトリセット）します。

1.2 初期起動の実行

1. 底面の主電源(スライドスイッチ）をOnの位置にスライドさせます。

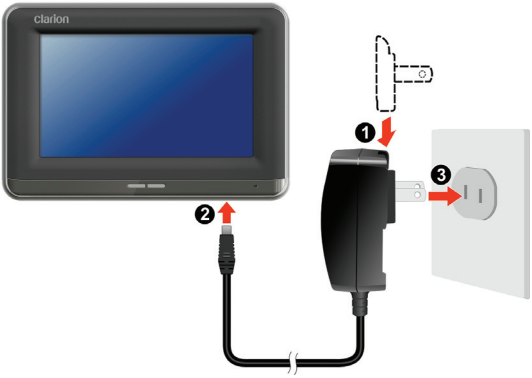
> **注意**: 通常の使用時にはOn/Offスイッチは常にOnの位置にしておいてください。

2. ホーム画面が表示されます。これで、本機は使用できます。

1.3 AC電源の接続とバッテリの充電

バッテリを最初に使用する場合、使用する前に8時間以上充電してください。

1. AC アダプタのプラグコンバータをカチッと音がするまでスライドさせます。
2. アダプタケーブルを本体の底部に接続します。
3. ACアダプタをコンセントに差し込みます。



4. 充電中は充電インジケータがオレンジ色に点灯します。充電インジケータの表示が緑色に変わって、バッテリの充電が完了するまで、製品本体からAC電源を外さないでください。充電には数時間かかります。

> **注意**:
> - 空になったバッテリを充電するためにACアダプタを接続した場合、本機をすぐにオンにしないでください。本体の電源を入れる必要がある場合は、1分以上待ってから入れてください。
> - 本機はUSBケーブルを使ってコンピュータと接続しても充電されます。
> - 本機がコンピュータに接続されていると、マスストレージデバイスとして認識されます。この場合、本機にあらかじめインストールされているファイルを削除しないでください。機能の不明なファイルを削除すると、本機の故障を招く恐れがあります。
> - 本機とコンピュータの接続を終了したら、本機をリセットしてください。

> **警告**: リチウムバッテリの最適な充電性能のために、以下に留意してください。
> - 温度が高い場所（直射日光が当たる場所など）でバッテリを充電しないでください。
> - 充電の前に、バッテリを完全に放電させる必要はありません。バッテリは放電しなくても充電できます。
> - 製品を長時間使用しなくても、バッテリは2週間に1度は充電してください。バッテリの放電が過度に進むと、充電性能に影響することがあります。

1.4　車内での使用

カーホルダーの使用

> **警告**: カーホルダーは適切な場所に設置してください。ドライバーの視界を妨げる場所には置かないでください。

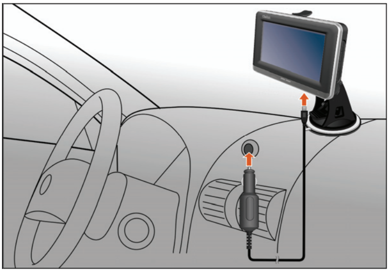
カーホルダーは本機を車内に固定するのに使用します。GPSアンテナが上空からの信号を常に受信できるように注意してください。（取り付け方法については付属の説明書を参照してください。）

カーチャージャーの接続

カーチャージャーは車内で本機に電源を供給します。

> **警告**: 本機をサージ電流から保護するために、カーチャージャーは自動車のエンジン始動後に接続してください。

1. カーチャージャーのミニUSB側を本機の電源コネクタに接続します。
2. 反対側を自動車のシガレットライターに接続すると、本体に電源が供給されると共にバッテリが充電されます。電源が本体に供給されていると、カーチャージャーのインジケータが緑色に点灯します。



1.5　基本操作

電源のオンとオフ

電源ボタンを短く押すと、本機のオンとオフが切り替わります。

電源ボタンを押してオフにすると、本機はサスペンド状態に入り、システムは動作を中断します。 再びオンにすると、システムは動作を再開します。

本機の操作方法

本機を操作するには、指先またはスタイラスでスクリーンに触れます。以下の動作が実行できます。

スタイラスはスロットから取り出し、引き伸ばしてご利用ください。使用後はスロットに戻しておきます。

- **タップ**
  スクリーンを指先で1回軽くたたくと、項目を開いたり、スクリーン上のボタンやオプションを選択したりできます。

- **ドラッグ**
  指先でスクリーンに触れたまま、スクリーンの上下左右または斜めにドラッグします。
- **タップアンドホールド**
  動作が完了するまで、または結果やメニューが表示されるまで、指先をタップしたままにします。

ホーム画面

最初に本機を起動すると、ホーム画面が表示されます。ホーム画面は様々なアプリケーションを表示しています。ボタンをタップすると、アプリケーションを開始したり、他のメニューを開いたりできます。

ボタン名	説明	詳細情報
ナビゲーション	ナビゲーションソフトウェアを開始します。	ナビゲーション編
マルチメディア	**ビデオ**　ビデオファイルを再生できます。	第2章
	オーディオ　MP3音楽を再生できます。.	第3章
	ピクチャー　画像を表示します。	第4章
セッティング	システム設定をカスタマイズします。	第5章

1.6　SD/SDHC/MMCカードの挿入

本機には、市販のSD/SDHC/MMCカードを使用できるスロットが用意されています。４GBまでのSDHCカードに対応しています。

メモリカードを使用するには、コネクタを先頭に、本機の正面側にラベルが向くようにして、カードをスロットに挿入してください。

カードを取り外すには、カードにアクセスしているアプリケーションがないことを確認してから、カードの上端を軽く押し、カードをリリ—スさせて、スロットから引き抜いてください。

> **注意**: スロットには他のものを入れないでください。

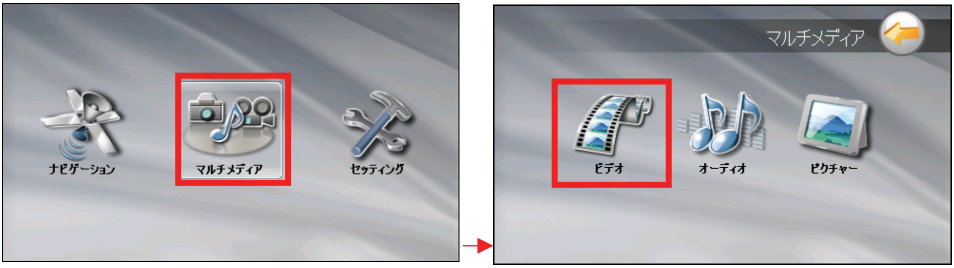
2 ビデオ

2.1 ビデオの起動と終了

> **警告**：運転している間はビデオの操作、視聴は絶対におやめください。ドライバーの視野に入るところでビデオを表示するのは、法規に触れる場合があります。

ビデオ により、本機で動画ファイルを視聴することができます。(本機がサポートする動画形式については、次節を参照してください)。

ホーム画面の**マルチメディア**をタップします。次に**ビデオ**をタップすると、警告画面が表示されます。**承諾する**をタップすると、ビデオが起動します。



プログラムを終了するには、 をタップしてください。

2.2 ビデオファイルを準備する

ビデオを使用する前に、本機の**My Flash Disk\ My Videos**フォルダの空き容量を確保するか、またはメモリカードにファイルを準備してください。

注意:
- 各フォルダに保存可能な最大ファイル数は512です。
- メモリカードのルートディレクトリに作成可能な最大フォルダ数は、FAT16フォーマットのカードで512です。FAT32フォーマットのカードではフォルダ数に制限はありません。

本機は、次の形式のビデオファイルのみをサポートすることにご注意ください。

形式	ビデオコーデック	オーディオコーデック
MP4 (.mp4)	MPEG4	AAC
MP4 (.mp4)	H.263	AAC
AVI (.avi)	MPEG4	ADPCM
3GP(.3gp)	MPEG4	AAC
3GP(.3gp)	H.263	AAC
ASF(.asf)	MPEG4	ADPCM
WMV (.wmv)	WMV	WMA

本機がコンピュータに接続されていると、マスストレージデバイスとして認識され、コンピュータから**My Videos**フォルダにファイルをコピーすることができます。ファイルがメモリカードに入っている場合、そのカードを本体に挿入してください。

注意: Bluetoothヘッドフォンを利用する場合、オーディオのコーデックおよびサンプリング周波数によっては正しく再生されない場合があります。

2.3 ビデオファイルを再生する

1. ホーム画面の**マルチメディア**をタップします。次に**ビデオ**をタップしますとビデオのプログラムが起動します。

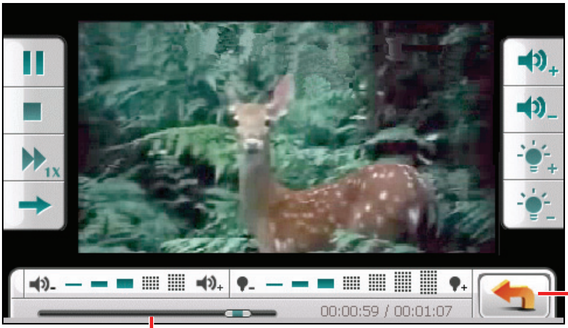
2. プログラムは本機の**My Videos**フォルダおよびメモリカードのすべてのフォルダから、再生できるファイルを検索します。その後、ビデオファイルリストが表示されます。

注意: ビデオの長さやファイルサイズなどのファイル情報が、ファイル名と共に表示されます。

3. ビデオファイルを再生するには、ファイル名の前の をタップします。または、ファイル名と . をタップすることもできます。(オンスクリーンコントロールボタンの説明については、次節を参照してください)。

2.4 ビデオ再生コントロール

再生中に、スクリーンのどこかをタップして、オンスクリーンコントロールボタンを開いたり閉じたりします。コントロールボタンが閉じると、ビデオはフルスクリーンで表示されます。



戻る

ノブをドラッグするかトラックバーのポイントをタップして、再生のために異なる場所に移動します。

コントロールボタン	名称	説明
/	再生/一時停止	再生するか、または再生を一時停止します。
	停止	再生を停止します。
	早送り	ビデオを早送りします。ボタンをタップすると、次の速度に切り換わります。 1X → 4X → 8X
	再生モード	次のモードに切り換わります。 1度の再生 繰り返し再生
/	バックライト	ビデオのバックライトの明るさを調整することができます。下部のインジケータに現在の明るさレベルが表示されます。
/	音量	音量を上げたり下げたりします。 下部のインジケータに現在の音量レベルが表示されます。
	終了	ビデオの再生を停止し、ビデオリストの画面に戻ります。

3 オーディオ

3.1　オーディオの起動と終了

オーディオは本機をMP3プレーヤーにします。機能は以下の通りです:

- MP3/WAV/WMA ファイルの再生
- 再生、一時停止、停止、前曲、次曲といった基本的な再生コントロール
- 再生には、1 曲再生、繰り返し、1 曲繰り返し、サンプル再生、通常の曲順再生、ランダム再生が含まれます。
- 11 のプリセットイコライザオーディオプロファイル
- プレイリスト対応

ホーム画面の**マルチメディア**をタップします。次に**オーディオ**をタップしますとオーディオのプログラムが起動します。
画面にはコントロールパネルが表示され、コントロールボタンをタップすることでプレーヤーを容易にコントロールできます。

プログラムを終了するには、 をタップしてください。

3.2 オーディオファイルを準備する

オーディオファイルを再生するには、本機の**My Flash Disk\My Audio**フォルダかメモリカードにファイル（.mp3、.wav、.wma）がなければなりません。

> **注意:**
> - 各フォルダに保存可能な最大ファイル数は512です。
> - メモリカードのルートディレクトリに作成可能な最大フォルダ数は、FAT16フォーマットのカードで512です。FAT32フォーマットのカードではフォルダ数に制限はありません。
> - 対応するサンプリング周波数は、16kHz、32kHz、44.1 k Hz、48 k Hzで、それ以外の音声を含むファイルは正しく再生されないことがあります。
> - Bluetoothヘッドフォンを A2DPで利用する場合には、.wavファイルは正しく再生されません。

本機がコンピュータに接続されていると、マスストレージデバイスとして認識され、コンピュータからMy Audioフォルダにファイルをコピーすることができます。

3.3 オーディオファイルを再生する

1. ファイルがメモリカードに保存されている場合は、カードを本体に挿入します。
2. ホーム画面の**マルチメディア**をタップします。次に**オーディオ**をタップしますとオーディオのプログラムが起動します。
3. プログラムは本体およびメモリカード内のオーディオファイルを検索します。オーディオファイルが検出されると、プレイリストに追加されます。
4. 再生を開始するには、 . をタップします。再生をコントロールするには、以下で説明されるコントロールボタンを使用してください。

情報エリアには、再生/一時停止/停止の状態、経過時間、電源状態、再生モード、音量レベル、およびアーティスト名（表示可能なファイルの場合）、ファイル名、曲の長さ、ステレオ/モノ情報といった再生中の曲情報を含む現在の状態が表示されます。

> **注意**:表示可能な最大時間は99:59なので、1つの曲の全体の長さが99分59秒を超えると、情報エリアには正しく表示されません。ただし、曲の再生には影響ありません。

3.4 再生コントロール

コントロールボタン	名前	説明
/	**再生/一時停止**	再生または一時停止します。
	停止	再生を停止します。
/	**前曲/次曲**	前または次のファイルを再生します。
/	**音量**	音量を増減します。 パネル上のインジケータが現在の音量 レベルを表示します。
	再生モード	以下のモードを巡回します:
		現在のプレイリストの全ファイルを順番に再生します。
		現在ファイルを繰り返し再生します。
		現在のプレイリストの全ファイルを順番に

		繰り返し再生します。
		現在のプレイリストの全ファイルをランダムに再生します。
		現在のプレイリストの全ファイルをランダムにサンプリング（10秒間）再生します。
	最小化	コントロールパネルを最小化し、背景で音楽を再生します。
	プレイリスト	プレイリストを開きます。（詳しくは3章5節を参照してください。）
	イコライザ	イコライザパネルを開閉します。(詳しくは3章6節を参照してください。)
	終了	プログラムを終了して、ホーム画面に戻ります。

3.5 プレイリストの編集

プレイリストはいつでも編集できます。オーディオを終了すると、プレイリストは保存されます。次にオーディオを起動すると、プレイリストに含まれるすべてのファイルが存在している限り、元のプレイリストがそのまま表示されます。(存在しないファイルはプレイリストに表示されません。)本体やメモリカードにオーディオファイルをコピーした場合、プレイリストに手動でファイルを追加できます。

> **注意：** オーディオ使用中にメモリカードを取り外して、再び装着すると、プレイリストは自動的に更新されます。

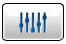
1. コントロールパネルの をタップすると、プレイリスト画面が表示されます。画面には現在のプレイリストが表示されます。

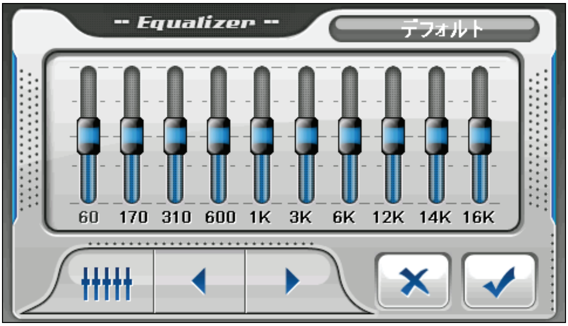
2. 曲をプレイリストに追加するには、 . をタップします。

3. すべてのオーディオファイルを掲載した画面が表示されます。追加する曲をタップしてから、 をタップします。

4. コントロールパネルに戻るには、 をタップします。

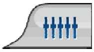
3.6 イコライザ

本機のイコライザには11のプリセットタイプが用意されています。をタップすると、イコライザパネルが開きます。



または をタップすると、以下の使用可能なオプションを巡回します: デフォルト、ロック (Rock)、ポップ (Pop)、ジャズ (Jazz)、クラシック (Classical)、ダンス (Dance)、ヘビー (Heavy)、ディスコ (Disco)、ソフト (Soft)、3D、ホール (Hall)。

をタップすると、選択を保存して、コントロールパネルに戻ります。

効果なしを選択するには、をタップしてください。

4 ピクチャー

4.1 ピクチャーの起動と終了

ピクチャーを使えば、JPG、JPEG、BMP 形式の画像を表示したり、本機内の画像のスライドショーを上映したりできます。

ホーム画面の**マルチメディア**をタップします。次に**ピクチャー**をタップしますとピクチャーのプログラムが起動します。

プログラムを終了するには、 をタップしてください。

4.2 画像を準備する

画像を表示するには、本機の**My Flash Disk\My Pictures**フォルダかメモリカードに画像ファイル（.jpg、.jpeg、.bmp）がなければなりません。

> **注意:**
> - ピクチャーではビットの深さが32以上のbmpファイルは表示できません。
> - 作業領域を他のプログラムと共有しているため、本機の状態によって、表示できる最大画像サイズは変動します。安定した動作のために、他のプログラムを終了してからピクチャーをご使用ください。

本機がコンピュータに接続されていると、マススストレージデバイスとして認識され、コンピュータから**My Pictures**フォルダにファイルをコピーできます。

4.3 画像をサムネール表示する

1. ファイルがメモリカードに保存されている場合は、カードを本体に挿入します。
2. ホーム画面のマルチメディアをタップします。次にピクチャーをタップしますとピクチャーのプログラムが起動します。
3. プログラムは本機の**My Pictures**フォルダおよびメモリカードのすべてのフォルダ内の画像ファイルを検索してから、サムネール表示で画像を表示します。上 または 下 の矢印ボタンを押すと、次または前のページに移動できます。

注意: 本機のメモリ使用状況により、全ての画像ファイルのサムネールが表示されないことがあります。

4.4 画像をフルスクリーン表示する

サムネール表示の画像を2回タップすると、画像はフルスクリーン表示されます。

サムネール表示に戻るには、画面上の任意の場所をタップし、コントロールボタンを表示させてから、 をタップしてください。

4.5 オンスクリーンコントロールボタン

オンスクリーンコントロールボタンは様々な機能と設定を提供します。画像上の任意の場所をタップすると、以下のボタンが表示されます。ボタン表示を閉じるには、画像を再びタップします。

コントロールボタン	名前	説明
	スライドショー	スライドショーを開始します。（詳しくは4章6節を参照してください。）
	間隔	各スライドが表示されてから次のスライドに移るまでの時間を設定します。ボタンをタップすると、次の使用可能なオプションにスイッチします。 1秒、3秒、5秒

	情報	ファイルの名前と日付の表示/非表示を切り替えます。
	削除	現在の画像を削除します。
	ズーム	ボタンを必要な回数タップすると、1.2x、1.5x、1.8x、2.0x にズームインします。画像にズームインすると、画像をドラッグすることで、画像の他の部分を表示できます。
	戻る	サムネール表示に戻ります。

4.6 スライドショーの表示

すべての画像のスライドショーを表示するには、以下の方法のどちらかを使用します。

- サムネール表示で をタップすると、スライドショーが始まります。
- フルスクリーンで画像上の任意の場所をタップすると、オンスクリーンコントロールボタンが表示されます。その後、 をタップすると、スライドショーが始まります。

スライドショーを停止するには、画面上の任意の場所をタップしてください。

5 セッティング

5.1　セッティングの起動と終了

バックライトの輝度、音量、時間といったシステム設定をカスタマイズできます。設定を変更すると、次に変更するまで新しい設定がそのまま残ります。

ホーム画面の **セッティング** ボタンをタップすると、下のセッティングメニューが表示されます。

セッティングを終了するには、 をタップします。

各ボタンとその機能については続くセクションで説明されます。

5.2　バックライト

1. ホーム画面の **セッティング** ボタンをタップします。
2. **バックライト**ボタンをタップします。
3. トラックバーにそってノブを動かすと、バックライトの輝度を調整できます。バックライトを暗くするには、ノブを左に動かします。バックライトを明るくするには、ノブを右に動かします。

4. をタップすると、変更が保存されます。

5.3　ボリューム

1. ホーム画面の **セッティング** ボタンをタップします。
2. **ボリューム** ボタンをタップします。
3. トラックバーにそってノブを動かすと、音量を調整できます。音量を下げるにはノブを左に動かします。音量を上げるには、ノブを右に動かします。

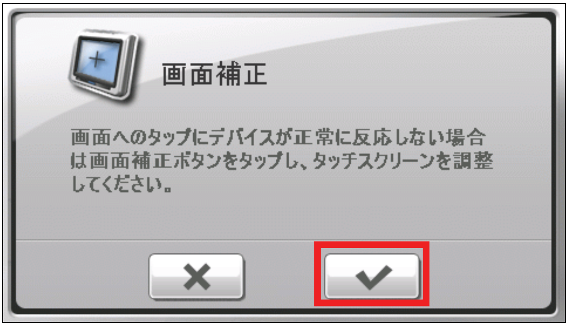
4. をタップすると、変更が保存されます。

> 注意：音量は5段階レベルで設定されております。微調整はできません。また、Bluetooth接続のステレオヘッドフォンおよび電話の音量はここでは設定できません。

5.4 画面

タッチスクリーンがタップに正確に反応しない場合、タッチスクリーンを補正できます。

1. ホーム画面の **セッティング** ボタンをタップします。
2. **画面** ボタンをタップします。
3. をタップすると、補正を開始します。



4. ターゲットの中心を正確に押さえます。
5. ターゲットが他の位置に移動したら、新しいターゲットを押さえます。補正プロセスが完了するまで、この動作を繰り返してください。
6. 完了後は、 をタップします。

> 注意 : 画面補正中は他の操作ができません。Bluetooth接続の電話に着信があっても受話できませんのでご注意ください。

5.5 電源

バッテリの残量を確認したり、省電力機能を設定したりします:

1. ホーム画面の **セッティング** ボタンをタップします。
2. **電源** ボタンをタップします。
3. 画面にバッテリの残量が表示されます。

4. 一定時間使用しない場合に本機を自動的にオフにするタイマを設定できます。タイマなし、30分、20分、10分のオプションが用意されています。

5. をタップすると、変更が保存されます。

5.6 日時

1. ホーム画面の **セッティング**ボタンをタップします。
2. **日時** ボタンをタップします。
3. タイムゾーンを変更するには、「タイムゾーン」項目の左/右の矢印をタップします。.

5. 日付を変更するには、「日」項目の下矢印をタップします。カレンダーがポップアップ表示されます。カレンダーの左矢印をタップすると年月が戻り、右矢印をタップすると年月が進みます。または、カレン

ダー上部の月または年をタップすると、月または年を直接変更できます。

カレンダーが現在の月を表示している場合、カレンダーの日付をタップしてください。

6. 時間を設定するには、まず「時間」項目の時、分、または秒をタップします。 上矢印をタップすると値が増加し、下矢印をタップすると値が減少します。

7. をタップすると、変更が保存されます。

5.7 Bluetooth ®

1. ホーム画面の **セッティング**ボタンをタップします。

2. Bluetoothボタンをタップします。

3. Bluetooth接続の使用に関する詳細は、次の章を参照してください。

6 Bluetooth®接続

6.1 Bluetoothのプロファイル

本機には、Bluetooth通信機能が組み込まれています。Bluetooth機能を組み込んだ機器は、物理的接続を介さずに約10 mの距離まで情報を交換することができます。

本機は、以下のBluetoothプロファイルをサポートします。

- ハンズフリープロファイル (HFP)
- ヘッドセットプロファイル (HSP)
- アドバンストオーディオディストリビューションプロファイル (A2DP)
- オーディオ/ビデオリモコンプロファイル (AVRCP)

> **注意:**
> - すべてのBluetooth機器が、すべてのプロファイルをサポートするわけではありません。その機器のもつBluetooth機能を知るには、Bluetooth機器のマニュアルを確認してください。
> - 必要に応じて、本機のBluetoothをオフにすることができます。(詳細については、6章7節を参照してください)。
> - 主電源をOffにすると、本機のBluetooth機能は登録機器の情報を保持しません。
> - A2DPによる接続でヘッドフォンから聞くことが出来るのは、ビデオやオーディオ等のステレオ音声だけとなります。システムビープやナビ音声案内等のモノラル音声はHSPによる接続のみで聞くことが出来ます。また、A2DP接続時のシステムビープやナビ誘導音声その他のモノラル音声は、本機内蔵スピーカーから出力されますので、音量設定にご注意ください。

6.2　Bluetooth携帯電話を接続する

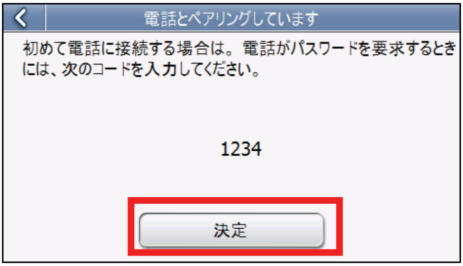
はじめて携帯電話を接続する

1. ホーム画面で セッティングボタンをタップします。
2. **Bluetooth →設定→電話機を検索**をタップします。

3. Bluetooth携帯電話が接続待ちになっていることを確認します。本機画面に表示される **OK** をタップして、近くのBluetooth携帯電話を検索します。

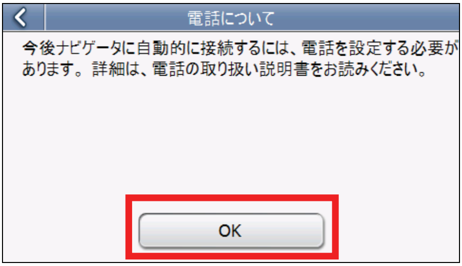
4. 画面に検索結果が表示されます。接続する携帯電話をタップします。

5. 決定をタップして、本機と携帯電話を接続します。



6. 携帯電話側に要求画面が現れた場合には、パスキー1234を入力し接続を確立します。携帯電話のモデルによっては、接続を完了するためにハンズフリーサービスを選択する必要があります。

7. **OK**をタップします。電話メニュー画面が表示されます。



携帯電話の切断と再接続

携帯電話を本機との接続すると、接続された携帯電話の名称が、設定メニューの下部に表示されます。設定メニューの切断または接続をタップすることにより、携帯電話を切断または再接続できます。

登録した携帯電話を接続する

電話メニューの接続ボタンをタップして登録した電話を接続します。(詳細については、6章6節を参照してください)。

6.3 電話操作

電話を発信する

携帯電話と接続した後(6章2節の説明を参照)、電話メニューの電話帳、通話ログ、電話ダイヤラーボタンを使用して電話をかけることができます。

電話ダイヤラー

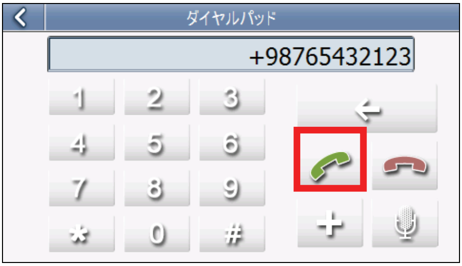
1. 電話メニューの電話ダイヤラーをタップします。

2. 電話番号を入力します。

注意:

- 国際電話には、電話番号に含まれる国コードが要求されます。本機では、国コードはプラス(+)記号により電話番号から分離されます。国際通話を行う場合、ダイヤルパッドの をタップしてください。
- 入力した最後の数字を削除するには、 ボタンをタップします。

3. をタップします。



電話帳

1. 電話メニュー画面で電話帳ボタンをタップします。

2. 連絡先リストが表示されない場合、をタップして携帯電話から連絡先リストをダウンロードします。

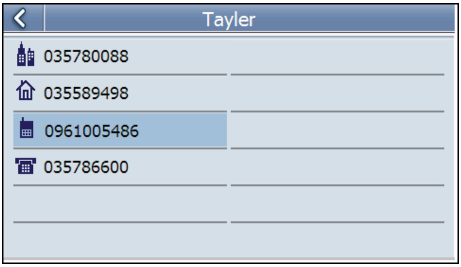
   注意:すべての携帯電話が、このようなデータのダウンロードをサポートする訳ではありません。

3. 画面に表示される連絡先リストのは連絡先が携帯電話のメモリに保存されていることを、は連絡先がSIMカードに保存されていることを意味します。電話をかける連絡先を選択します。

   注意:すべての携帯電話が、電話のメモリまたはSIMカードに保存されたデータのダウンロードをサポートする訳ではありません。

4. 連絡先に複数の電話番号がある場合、連絡先をタップすると詳細画面が開きます。画面にさまざまな番号と共に表示されるは職場、は自宅、は携帯電話、はファックスを意味します。

   電話をかける番号をタップします。



注意:電話中に内線番号など他の番号を入力する必要がある場合、電話メニューの電話ダイヤラーをタップしてキーパッドを開き、数字をタップします。また、すべての電話が詳細画面をサポートするわけではありません。電話機によっては、詳細画面を持たずに複数の電話番号を全て同じアイコンで表示することがあります。

通話ログ

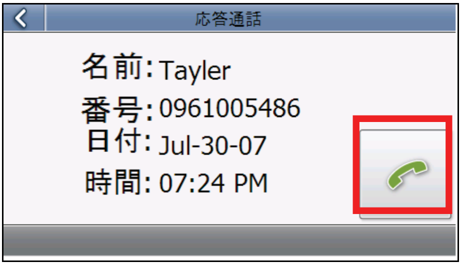
1. 電話メニューの通話ログをタップします。

注意: すべての携帯電話が、このようなデータのダウンロードをサポートする訳ではありません。

2. 通話ログが画面に表示されますが、は着信電話を、は不在着信を、は発信電話を意味します。

3. 通話ログから電話ををかけるには、番号をタップします。
4. 名前、番号、日時など、通話の詳細が画面に表示されます。携帯電話のモデルによっては、一部表示されない情報もあります。
5. をタップします。

> **注意**: 電話中に内線番号など他の番号を入力する必要がある場合、電話メニューの電話ダイヤラーをタップしてキーパッドを開き、数字をタップします。ただし通話先や電話機の状態によってはキーパッド入力ができないことがあります。



電話を受信する

携帯電話と接続した後(6章2節の説明を参照)、着信電話があると本機のベルが鳴り、着信電話画面が表示されます。

注意:
- 電話中に内線番号など他の番号を入力する必要がある場合、電話メニューの電話ダイヤラーをタップしてキーパッドを開き、数字をタップします。
- 通話先や電話機の状態によってはキーパッド入力ができないことがあります。
- ナビゲーションの経路計算中の場合、計算終了まで着信通話画面は表示されません

着信を受けるには、をタップします。着信を拒絶するには、をタップします。

通話中の操作

通話中には、以下の操作ができます。

- 電話帳またはメッセージを参照する必要がある場合、をタップし、電話帳またはメッセージをタップします。データを更新することはできません。
- 内線番号など、他の番号を入力する必要がある場合は電話メニューから電話ダイヤラーを選択し、ダイヤルパッドを使用し数字をタップします。ただし通話先や電話機の状態によってはキーパッド入力ができないことがあります。
- ダイヤルパッドのをタップするとあなたの声は消音になり、他の人に聞かれることがなくなります。消音モードを終了するには、同じボタンをもう一度タップします。
- ナビゲーション画面以外で通話を終了するにはダイヤルパッドのをタップします。

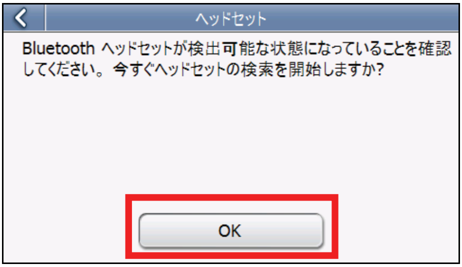
- ナビゲーション画面中に通話すると、画面上に 終話 が現れますので、これをタップして通話を終了します。
- 着信音および通話中の音量は、通話中に本機の音量ボタンで調整します。着信音および通話時の音量は、通話時以外のナビやオーディオ等の音量とは独立に設定されています。ただし、電話機によっては、着信音が通話時以外の設定となっており、本機の音量をゼロにすると着信音が聞こえない場合があります。

6.4　Bluetoothモノラルまたはステレオヘッドセットを接続する

はじめてヘッドセットを接続する

1. ホーム画面で セッティングボタンをタップします。
2. 接続するヘッドセットに従って**Bluetooth→設定→ヘッドセットを検索**または**ステレオを検索**をタップします。

3. ヘッドセットが接続待ちになっていることを確認します。プログラムの**OK**をタップして、近くのBluetoothヘッドセットを検索します。



4. 画面に検索結果が表示されます。接続するヘッドセットをタップします。

5. 本機に入力画面が現れましたら、ヘッドセットのパスキーを入力し、(詳細については、ヘッドセットのマニュアルを参照してください。)接続が確立できるように決定をタップします。

6. 接続が完了すると、電話メニューが表示されます。

ヘッドセットの切断と再接続

ヘッドセットを本機と接続すると、接続された機器の名前が、セットアップメニューの下部に表示されます。セットアップメニューの**切断**または**接続**をタップすることにより、ヘッドセットを切断または再接続できます。

> **注意**:ヘッドセットと本機の切断/再接続には数秒から数分の時間がかかる場合があります。また、切断すると音声出力は内蔵スピーカに切り替わります。再接続する場合は、一度音声出力を停止してください。

登録したヘッドセットを接続する

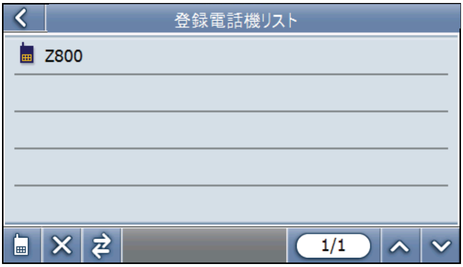
電話メニューの接続ボタンをタップして登録したヘッドセットを接続します。(詳細については、6章6節を参照してください)。

6.5 ショートカットを使用する

Bluetooth接続が確立されると、ショートカットが保存されます。ショートカットを使用すると、パスキーを再び検索したり入力することなく、特定の装置を再接続することができます。

1. 電話メニューで、**接続**ボタンをタップします。

2. 最初に、登録された電話機のリストが画面に表示されます。登録したヘッドセットを選択するには、 をタップします。
3. 接続する機器を選択します。
4. をタップします。



> **注意:**
> - 本機の主電源をOffにすると、登録リストは初期化されます。
> - をタップすることで、選択したショートカットを削除できます。

6.6　Bluetoothのオン/オフを切り替える

Bluetoothプログラムを起動すると、Bluetoothはオンになります。本機のBluetoothインジケータが青く点滅します。

Bluetoothをオフにするには、電話メニューの**設定**ボタンをタップし、**Bluetoothオフ**をタップします。点滅しているBluetoothインジケータが消灯します。Bluetoothをオンにするには**Bluetoothオン**ボタンをタップします。

7 トラブルシューティングとメンテナンス

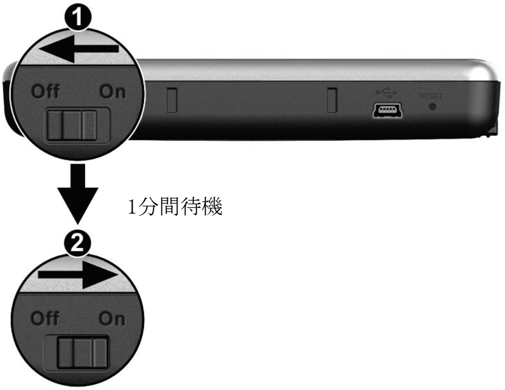
7.1　本体のリセット

本体のリセットが必要になる場合があります。例えば、反応しなくなった場合や「フリーズ」または「クラッシュ」が発生したと思われる場合は、システムを リセットしなければなりません。

製品に添付されているスタイラスストラップを用いて製品本体底部のリセットボタンを押してください。これは「ソフトリセット」と呼ばれます。ソフトリセット後は、ホーム画面が表示されます。

ソフトリセット後も本機が反応しない場合は、以下の手順に従って「ハードリセット」を実行できます。

1. ACアダプタを含むすべてのケーブルを本体から外します。
2. 主電源（スライドスイッチ）をOff（左）の位置にスライドさせます。
3. 1分間そのままにしてから、スイッチをOn（右）の位置に戻します。



7.2 トラブルシューティング

電源の問題

バッテリ電源を使用すると電源がオンにならない

- バッテリ電源の残量が少ない場合、本機が起動しない可能性があります。ACアダプタを使って本機とAC電源を接続してから、本体の電源を入れてください。

画面の問題

画面の反応が遅い

- 本機のバッテリ電源を使い果たしていないことを確認してください。それでも問題がある場合は本体をリセットしてください。

画面がフリーズする

- 本体をリセットしてください。

画面が見づらい

- ディスプレイのバックライトがオンになっていることを確認してください。

- バックライトの設定を明るくしてください。

タップが正しく反応しない

- タッチスクリーンを再補正してください。（補正方法については5章4節を参照してください。）

接続の問題

ケーブル接続の問題

- 接続を確立する前に、本機とコンピュータの両方の電源が入っていることを確認してください。
- ケーブルがコンピュータの USB ポートと本機に正しく接続されていることを確認してください。USB ケーブルは USB ハブを通してではなく、コンピュータに直接接続してください。
- ケーブルを接続する前に本体をリセットしてください。コンピュータを再起動する場合は必ず本機を外してください。
- ケーブル接続を終了した後に本体をリセットしてください。

GPSの問題

GPS測位されない場合、以下を検討してください:

- GPS アンテナが上空からの信号をよく受信できるようになっていることを確認してください。
- GPS受信は以下の要素の影響を受けることに注意してください:
  - ✓ 天候不良
  - ✓ 上方の（樹木や高層ビルなどの）密集した障害物
  - ✓ 車内の他の無線機器
  - ✓ 自動車のフロントガラスまたはウィンドウの反射材

7.3 製品本体のメンテナンス

お取り扱いにご注意いただくことで、トラブルのない動作が確保され、故障の可能性を低減できます。

- 高温・多湿の場所に製品本体を置かないでください。
- 直射日光や強い紫外線のあたる場所に本機を長時間放置しないでください。
- 本機の上にものを置いたり、本機の上にものを落としたりしないでください。
- 本機を落としたり、本機に強い衝撃を与えたりしないでください。
- 本機に急激で大幅な温度変化を与えないでください。これにより本体内部に結露が生じて、故障の原因になることがあります。結露が生じた場合は、使用する前に、本体を完全に乾かしてください。
- 本機の上に座らないように注意してください。また本機はズボンの後ろのポケットに入れて持ち運ばないようにお勧めします。
- 液晶パネルの表面は傷つきやすくなっています。とがったもので触らないでください。画面が傷つくのを防ぐためには、液晶パネルを装備したポータブル機器で使用するために専用にデザインされた非粘着性の一般的なスクリーンプロテクターが使用できます。
- 電源を入れたまま本機をクリーニングしないでください。製品本体の画面やフレームを拭く場合は、水を含ませた柔らかくて糸くずの出ない布を使用してください。
- 画面をクリーニングする場合、ペーパータオルを使用しないでください。
- 本体の分解、修理、改造はしないでください。分解、改造、修理は本体の故障、傷害、器物損壊の原因となり、保証が無効になります。
- 本機およびその部品やアクセサリと同じ場所に、可燃性の液体、気体、爆発物を保存または搬入しないでください。

8 規制情報

8.1 規制適合声明

VCCI

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

8.2 安全上のご注意

- 最大音量で長時間音楽を聞くと、聴力障害の原因になる場合があります。
- イヤホンで音楽を聴きながら運転することは、法規に触れる場合があります。
- 電子機器や医療用機器に影響を与える場合がありますので、使用を禁止された区域では電源を Off にしてください。

充電について

- 製品付属の AC アダプタ以外はご利用にならないでください。その他の AC アダプタを使用すると、故障や発火、火災の原因となり、危険です。

- 製品付属のカーチャージャー以外はご利用にならないでください。その他のカーチャージャーを使用すると、故障や発火、火災の原因となり、危険です。
- この製品の定格は+ 5 V DC / 1.0 A です。
- 指定のバッテリー以外はご利用にならないでください。

ACアダプタについて

- 本品は日本国内専用で、屋内専用です。
- 付属する機器以外への接続、使用をしないでください。
- アダプタは高湿環境で使用しないでください。また、濡れた手足でアダプタに触れないでください。
- 使用中は表面が熱くなることがあります。
- 家庭用 AC 電源以外では使用しないでください。
- アダプタを接続して製品を使用している場合や、バッテリーを充電している場合は、アダプタ周辺を適度に換気してください。AC アダプタに紙をかぶせたり、異物を置くなどして、アダプタの冷却を妨げないでください。
- 電源アダプタを抜くときは、必ずアダプタ本体を持って抜いてください。コードを引っ張ると破損したり火災や感電の原因になることがあります。
- アダプタはぬれた手で抜き差しを行わないでください。感電の原因になることがあります。
- コードが破損した場合は、アダプタの使用を中止してください。
- ショート、分解、改造などはしないでください。
- 本体をご自分で修理しないでください。本体内部にはユーザ自身が修理できる部品は含まれていません。本体が破損したり、浸水を受けた場合は、交換してください。

液晶パネルについて

- 液晶パネルを強く押したり、強い衝撃などを与えないでください。液晶パネルのガラスが割れ、けがの原因になる場合があります。
- タッチスクリーンを指などで強く押しますと、液晶パネルの表面にニジミなどが発生し、故障の原因になる場合があります。力の掛けすぎに注意してください。

バッテリーについて

- メーカー認定の充電器以外はご利用にならないでください。
- 警告: バッテリーを分解したり、穴を開けたり、火気の中に入れないでください。バッテリーが破裂または爆発し、有害物質が放出される危険があります。
- 重要 (サービス員限定)
  - ✓ 注意:不当な種類のバッテリーと交換すると､爆発する危険があります。使用済みバッテリーは地域の指示に従って廃棄してください。
  - ✓ 同じバッテリー、またはメーカーの推奨する同等のバッテリーと交換してください。
  - ✓ バッテリーは正しくリサイクルまたは廃棄してください。
  - ✓ 指定されたデバイスでのみ、バッテリーをご利用ください。

クラリオン株式会社

本社事務所
〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7-2
Clarion ホームページ　http://www.clarion.com

お問い合わせはお客様相談室へ
フリーダイヤル：0120-112-140
（9：00～12：00・13：00～17：30/土・日・祝祭日を除く）

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	TEL.
製造番号	

＊お客様へ … ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。

2008/10　QX-3020A

取扱説明書（ナビゲーション編）

ROAD EXPLORER LITE 2.0

DrivTrax P7DT
DrivTrax P75DT
DrivTrax P50
DrivTrax P55

ドリブトラックスP50/P55/P7DT/P75DT

パーソナル ナビゲーション デバイス

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

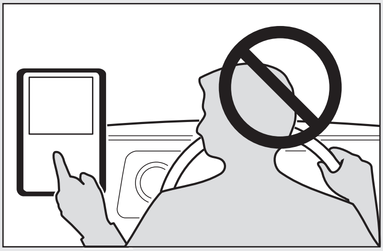
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
⊘	**絵表示の例：**この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

安全上のご注意

⚠警告

移動中に検索・地点登録などの操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所で停止し、車の場合はパーキングブレーキをかけてから操作してください。



⚠注意

ナビゲーションによるルート誘導時は、実際の交通規則に従って移動してください。

⚠警告

走行中に運転者がナビゲーションの画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると、大変危険です。交通の状況、歩行者、車などに十分注意しながら運転してください。

走行中はナビゲーションの操作をしない

走行中に運転者が操作をするのは、絶対におやめください。
安全な場所に車を止めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。

交通規則に従って移動する

ルート探索をすると、目的地までのルート / 音声案内が設定されます。曜日、時刻規制などの交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に移動すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。移動の際は必ず実際の交通標識に従ってください。
ナビゲーションの画面に表示される情報や建物や道路などの形状は実際と異なる場合があります。

本機の扱い上の警告

本機の分解、改造をしない

本機の機構は精密なため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解、回転部分への注油はやめてください。事故や火災、感電の原因となります。

万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変なにおいがするなどの異常が起こったら、ただちに使用を中止する

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。
必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談してください。

目次

1　はじめに

安全にお使いいただくために必ずお読みください... 1
　安全上のご注意 1
走行中はナビゲーションの操作をしない..... 2
交通規則に従って移動する 2
本機の扱い上の警告.. 2
ナビゲーションでできること 4
　操作説明について 4

2　基本操作

ナビゲーションの起動..................................... 5
ナビゲーションの終了..................................... 6
現在地画面 7
地図スクロール画面.. 8
地図のスケールを変える 9
地図画面の表示について 9
　地図表示の向きについて 9
　地図画面の配色について 10
　登録地・自宅のアイコンについて 10
地図記号一覧 11
「メニュー画面」を表示する 12
各設定画面の基本操作................................. 13
　リスト表示の画面操作........................... 13
　タブ表示の画面操作 13
　チェックボックス表示の画面操作 13
　[現在地] 13
　[もどる] 13

3　場所（行き先）を探す

地図画面で探す 14
住所で探す 14
電話番号で探す 16
名称で探す 17
周辺の施設を探す 18
ジャンルで探す 19
登録した場所（登録地・自宅）から探す 21
検索履歴から探す 22
　検索履歴を消去する 22
探した場所の地図を見る 23

4　ルート誘導

ルートを探索する 24
自宅までのルートを探索する 25
　探索条件を変更して再探索する 26
　ルートを削除する 27
　ルートをデモ走行する.......................... 27
　経由地を追加する 28
ルートを変更する 29
ルート誘導を開始する................................. 29
ルート誘導中の案内について 30
　ライダーモード 31
　ラリービュー画面 31
　ハイウェイモード 32
オートリルートについて 34
　経由地が設定されている場合 34
　音声による誘導 34
　リルートを「手動」に設定している場合 .. 35
条件を変えてルートを探索させる 35
ルートを削除する 36

5　経由地 / 登録地 / 現在地修正

経由地を設定する 37
　経由地を削除 / 変更する...................... 37
地点を登録する（登録地・自宅）............... 38
　登録地・自宅のアイコンを地図に表示する .. 39
登録地を編集する 39
登録地を削除する 40
現在地を修正する 40
登録地を SD カードから本体へコピーする 41

6　ナビ設定

ルート探索条件の設定を変更する 42
車種の設定を変更する................................. 42
リルートの設定を変更する 43
誘導モードの設定を変更する 43
地図の配色を変更する................................. 44
地図表示の向きを変更する 44
地図のアイコン表示を変更する 45
走行軌跡表示を変更する 45
走行軌跡を消去する..................................... 46
設定をご購入時の状態に戻す 46
GPS の測位状態を確認する........................ 47
デモ走行でルート誘導を確認する 47

7　付録

ナビゲーションのしくみ 48
　GPS による測位...................................... 48
　マップマッチング 48
　誤差について 48
収録されている地図情報について 50
　電話番号検索のデータについて 50
　アイコン表示について.......................... 50
　ルートに関する注意事項...................... 50
　地図データについて 51
　交通規制データについて...................... 52

ナビゲーションでできること

「チズルとススム」からの地点登録に対応

- 本機は、ドライブをもっとワクワクさせる地図コミュニティサイト「チズルとススム」からの地点登録に対応しています。SD カードに保存した「チズルとススム」の地点情報を本体にコピーすることができます。「チズルとススム」での地点情報の登録の仕方については、http://chizu-route-susumu.jp/ をご確認ください。

利用シーンの多さはポータブル随一！

- カーナビとしての利用はもちろん、歩行時に適切な道を案内してくれる“歩行者モード”やバイク走行中の誘導に便利な“ライダーモード”も搭載！ルート誘導をして欲しい様々なシーンで使えます。

高性能！ルート探索＆誘導！

- カーナビで実績を積んだインクリメントＰ社製、高性能ルート探索エンジンを搭載！
- 有料道路は専用のハイウェイモード、入口･分岐イラストでわかりやすくご案内！
- おすすめ、距離優先、主要道を優先、有料道回避などドライブプランに合わせた探索条件でドライブをサポートします。
- 交差点がわかりやすい、オートズーム交差点誘導機能！
  レーン情報や方面看板でドライバーをアシストします。

多彩な地点検索機能！

- 日本全国の住所検索やジャンル、周辺からのスポット検索はもちろん、キーワードによる名称検索や電話番号検索も標準装備。検索手段が豊富、だから探しやすい！
- 検索情報は約 2000 万件！

見やすさに実績があるデジタル地図採

- 信頼の地図サービス「MapFan」で実績を積んだデジタル地図（インクリメントＰ株式会社）を採用！
- 縮尺 1/6,250 を含む道路地図を、日本全国 11 段階でフルカバー！

その他の主な機能

- 経由地を指定するルート探索
- 地点登録機能
- 検索履歴機能
- オートリルート
- ヘディングアップ、ノースアップの地図表示方向切替え
- 音声案内 (セーフティインフォメーション対応)
- デモ走行
- 中型車 / 普通車 / 軽自動車の料金表示
- 到着予想時刻、残距離表示
- 走行軌跡表示
- 地図上への店舗ロゴマーク表示

操作説明について

ナビゲーションは、タッチパネルの画面を触れることで操作を行います。この取扱説明書では、画面に触れることを「タップする」と表現しています。

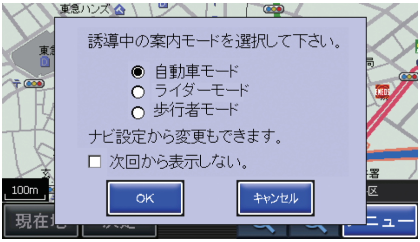
ナビゲーションの起動

本体のホーム画面から **[ナビゲーション]** をタップすると、起動画面表示後にナビゲーションが起動し、案内モード選択画面が表示されます。
利用する案内モードをタップして［OK］をタップすると、警告画面が表示されます。
［OK］をタップすると、現在地画面を表示します。

メモ

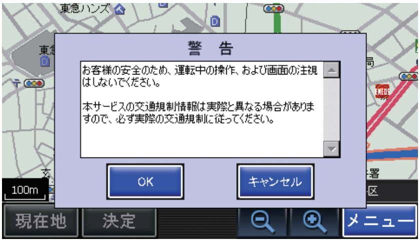
- 現在地が取得できない場合は、前回取得した地点を表示します。

▼



案内モード選択画面が表示されてから何も操作しないで 15 秒経過すると、自動的にチェックマークがついているモードが選択され、警告画面が表示されます。
案内モード選択画面を次回から表示しないときは、「次回から表示しない」のチェックボックスをタップして、チェックマークを付けます。

▼



メモ

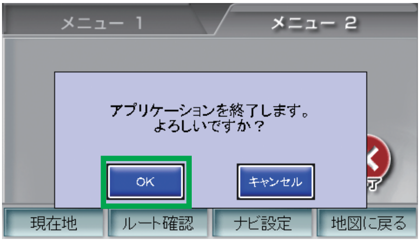
- 案内モード選択画面、警告画面で **[キャンセル]** をタップすると、ナビゲーションの起動を中止して本体のメニューに戻ります。

▼

ナビゲーションの終了

ナビゲーションの終了は、「メニュー２画面」を表示してから［**終了**］をタップします。
表示された確認ダイアログ画面の［**OK**］をタップすると、ナビゲーションを終了します。
（→ P12）「メニュー画面を表示する」

▼



メモ

- 案内中にナビゲーションを終了した場合、そのデータは保存されます。次にナビゲーションを起動したとき、「メニュー１画面」を表示してから［**ルート確認**］をタップし、「ルート確認画面」で［**誘導開始**］をタップするとルート誘導を行います。（→ P12）「メニュー画面を表示する」（→ P29）「ルート誘導を開始する」
- 本体底面のリセットボタンを押しても、現在操作中の内容はリセットされますが、保存されている登録地情報 / 検索履歴 / ナビ設定などの情報はリセットされません。

現在地画面

ナビゲーションが起動すると現在地を中心とした地図画面が表示されます。起動後の地図画面は 100m スケールで表示します。

方位表示
赤い三角が北の方向を示します

現在地の地名表示
現在地周辺の地名を表示します。
- 地名をタップすると表示を切り替えることができます。タップするごとに、緯度経度表示→現在時刻表示→道路名称表示→地名表示（市区町村）の順に切り替わります。

GPS 信号測位状況表示
GPS 信号の測位状況を表示します。（→ P48）
未取得：
2 次元測位：
3 次元測位：

現在地マーク
現在地を示します。アイコンはモードによって異なり、自動車モードとライダーモードは、進行方向を表します。

スケール表示
地図のスケールを表示します。

スケール［+］［−］
地図のスケールを変更します。

［メニュー］
［メニュー］をタップすると、「メニュー画面」に切り替わります。（→ P12）「メニュー画面を表示する」

メモ
- 目的地が設定されている場合は、現在地から目的地の方向を示す直線（赤色）が表示されます。
- 変更したスケールは、ナビゲーションを終了して再起動すると、リセットされて 100m スケールで地図を表示します。
- 現在地マークは、実際の現在地からずれる場合があります。
- GPS 信号の受信状態が悪く、現在地を測位できないときは、前回終了時の地点を表示します。
- 道路名称の情報がない場合は、移動時に「道路名称表示」に切り替えても何も表示されません。

地図スクロール画面

地図スクロール画面は、地図を動かすときに表示される地図画面です。

1 地図上の見たい地点をタップする

タップした地点を中心とした地図が表示されます。

センターマーク

地図上の中心点を示します。

[決定]

[決定] をタップするとサブメニューが表示されます。（→ P14）「地図画面で探す」

[現在地]

「現在地画面」に戻ります。

センターマークの地名表示

センターマーク周辺の地名を表示します。

- 地名をタップすると表示を切り替えることができます。タップするごとに、緯度経度表示→現在時刻表示→道路名称表示→地名表示（市区町村）の順に切り替わります。

メモ

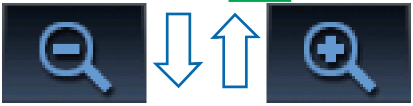
- 目的地が設定されている場合は、現在地から目的地の方向を示す直線（赤色）が表示されます。
- 地図上をタップし続けると、タップした地点の方向に地図が連続してスクロールします。センターマークから離れた地点をタップするほど、その距離に合わせて地図がスクロールします。
- 道路名称の情報がない場合は、移動時に「道路名称表示」に切り替えても何も表示されません。

地図のスケールを変える

地図のスケールは 50m ～ 100km の範囲で変えることができます。
通常は 100m スケールで表示されます。

1　［＋］・［－］をタップする

タップするたびに 50m、100m、200m、500m、1km、2km、5km、10km、20km、50km、100km で地図のスケールが変わります。



（広域）　　　（詳細）

メモ

- **［＋］**または**［－］**をタップし続けると、地図のスケールが連続的に変わります。
- 「ルート誘導画面」、「地図スクロール画面」から**［現在地］**をタップして「現在地画面」に切り替えると、切り替える前の画面のスケールで地図が表示されます。

地図画面の表示について

地図表示の向きについて

進行方向が常に上にくるように地図が回転するヘディングアップと、常に北を上に表示するノースアップの地図の表示を選ぶことができます。

〈ヘディングアップ〉

〈ノースアップ〉

メモ

- ご購入時は、ヘディングアップに設定されています。地図表示の向きを変更するときは、（→ P44）「地図表示の向きを変更する」を参照してください。

地図画面の配色について

地図画面の配色を時刻連動 / 昼 / 夜 / 屋外で選ぶことができます。夜は夜間移動時、屋外は明るい場所を移動時に適切な配色になっています。移動する場所、時間に合わせて画面の配色を設定してください。時刻連動に設定すると、日の出時刻と日の入り時刻で自動的に配色を切り替えます。

〈昼〉

〈夜〉

〈屋外〉

メモ

- ご購入時は、時刻連動に設定されています。地図画面の配色を変更するときは、（→ P44）「地図の配色を変更する」を参照してください。

登録地・自宅のアイコンについて

登録地・自宅のアイコンを地図に表示することができます。

メモ

- アイコンを表示する縮尺は、1/6250(50m) と 1/12500(100m) のみです。
- 地点を登録するときは、（→ P38）「地点を登録する（登録地・自宅）」を参照してください。
- 地図にアイコンを表示するときは、（→ P39）「登録地・自宅のアイコンを地図に表示する」を参照してください。

地図凡例

	有料都市間高速、有料都市高速
	有料国道、有料主要地方道、 有料一般都道府県道、有料一般道
	国道
	主要地方道
	一般都道府県道
	一般道

地図記号一覧

地図関連

- 指示点
- 山岳
- 公園
- 工場
- 発電所
- トンネル
- マンション
- サービスエリア
- パーキングエリア
- インターチェンジ
- 料金所
- 駐車場・道の駅
- ガソリンスタンド
- 銀行
- ファミリーレストラン
- ファストフード
- コンビニエンスストア
- カーディーラー
- 空港
- ヘリポート
- フェリー乗り場
- タワー・展望台
- 灯台
- 墓地
- 公共館など
- 警察署
- 消防署
- 官公庁・裁判所・大使館など
- 都道府県庁
- 市町村役場
- 自衛隊
- 米軍
- 病院
- 郵便局
- NTT
- 学校
- 小学校
- 中学校
- 大学
- 幼稚園
- 保育園
- 自動車教習所
- 温泉
- 銭湯
- 遊園地・レジャーランド
- キャンプ場
- ゴルフ場
- 野球場
- スタジアム
- 体育館
- スキー場
- スケート場
- 海水浴場・プール
- ヨットハーバー
- サーフィングエリア
- モータースポーツ
- 美術館・博物館・図書館など
- 動物園
- 植物園
- 水族館
- プラネタリウム
- ホール・劇場
- フォトポイント
- 神社
- 仏閣
- 教会
- 城・城跡
- 天然記念物など
- 陵墓・古墳
- 牧場
- 果樹園
- 倉庫
- 競馬場
- デパート
- スーパーマーケット
- 市場
- ショッピングセンター
- DIY
- リゾートホテル

ルート関連

- 目的地
- 経由地
- 出発地
- 誘導ポイント
- 信号機
- 案内中ルート（有料道）
- 案内中ルート（一般道）
- 自車位置（自動車モード）
- 自車位置（ライダーモード）
- 自車位置（歩行者モード）

※記号やマークは、スケールによって表示されない場合があります。
※実際の色と異なる場合があります。

「メニュー画面」を表示する

「現在地画面」「地図スクロール画面」「ルート誘導画面」で **[メニュー]** をタップすると「メニュー 1 画面」が表示されます。
「メニュー 2 画面」を表示するときは、**[メニュー 2]** をタップします。

メニュー 1 画面

[住所] (→ P14) 住所で探す。
[電話番号] (→ P16) 電話番号で探す。
[名称] (→ P17) 名称で探す。
[周辺検索] (→ P18) 周辺施設を探す。
[ジャンル] (→ P19) ジャンルで探す。
[登録地] (→ P21) 登録地から探す。
[検索履歴] (→ P22) 検索履歴から探す。
[自宅に戻る] (→ P25) 自宅へのルート探索を行う。

メニュー 2 画面

[ホームメニュー] 本体のメニューに戻ります。
[終了] (→ P6) ナビゲーションを終了します。

メニュー画面でできる操作

[現在地] メニューを終了して、「現在地画面」を表示します。
[ルート確認] (→ P24) 設定したルート情報を確認します。
[ナビ設定] (→ P42) 用途やお好みに応じて設定を変更します。
[地図に戻る] メニュー画面表示前の地図に戻ります。

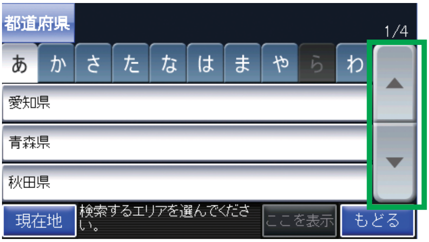
メモ

- **[ホームメニュー]** ボタンを押して本体のメニューを表示した場合、本体のメニューから [ナビゲーション] をタップすると「メニュー 2 画面」へ戻ります。
- **[ルート確認]** は、ルートが設定されている場合にのみ表示されます。

各設定画面の基本操作

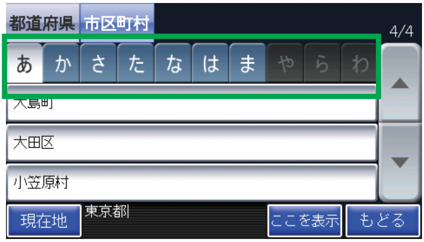
リスト表示の画面操作

リストの項目を画面に表示しきれないときは、スクロールボタンが画面に表示されます。
［スクロール］をタップすると、リストを上下にスクロールします。
画面右上には表示中のリストのページが表示されます。



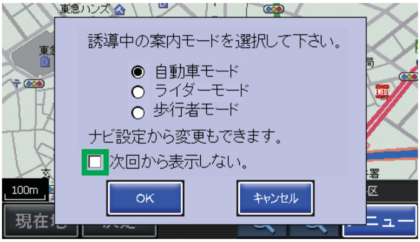
タブ表示の画面操作

都道府県、市区町村などでは、タブが画面に表示されます。
［タブ］をタップすると、選んだタブの住所リストを表示します。



チェックボックス表示の画面操作

チェックボックスが表示される画面では、チェックボックス（□）をタップして選択または解除の操作を行います。

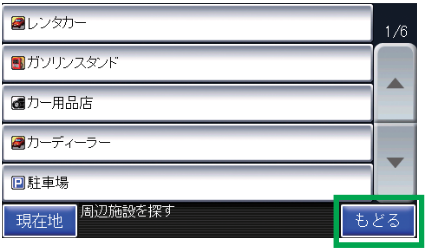


［現在地］

各画面で、**［現在地］**をタップすると、入力または選択した内容をキャンセルして「現在地画面」を表示します。

［もどる］

各画面で、**［もどる］**をタップすると、入力または選択した内容をキャンセルして、前の画面に戻ります。



地図画面で探す

地図画面をタップして、地図上で場所を探します。

1 地図画面で地図上をタップする

2 地図をスクロールさせ、探したい場所をタップして画面の中心に合わせる

3 ［決定］をタップする

4 操作する項目をタップする

［ここへ行く］：探した地点を目的地に設定します。→（P24）「ルートを探索する」

［地点登録］：探した地点を登録します。→（P38）「地点を登録する（登録地・自宅）」

［現在地設定］：探した地点を現在地に修正します。→（P40）「現在地を修正する」

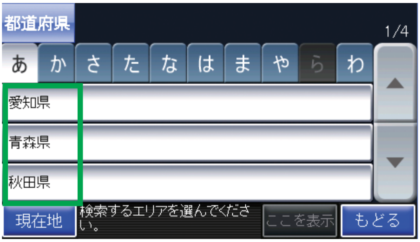
住所で探す

住所で場所を探します。番地まで入力して探すことができます。

1 ［メニュー］をタップする

2 ［住所］をタップする

3 「都道府県」をタップする



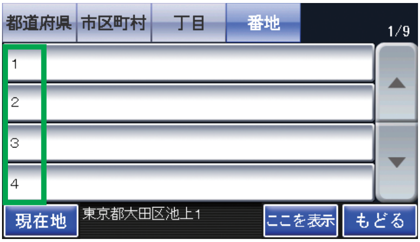
4 「市区町村」をタップする

メモ

- 住所に小字があるときは、*5*の「丁目」で小字を選択します。

5 「丁目」をタップする

6 「番地」をタップする



▼

入力した住所を中心に「地点確認画面」が表示されます。

7 操作する項目をタップする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。→（P24）「ルートを探索する」

[地点登録]：探した地点を登録します。→（P38）「地点を登録する（登録地・自宅）」

[地図を見る]：探した場所の地図を表示します。→（P23）「探した場所の地図を見る」

メモ

- 探した地点がピンポイントデータではない場合、代表地点の地図が表示されます。
- 入力が終了した「都道府県」、「丁目」等のタブをタップすると、入力した内容をキャンセルしてタップしたタブの入力画面に戻ります。
- 各画面で **[ここを表示]** をタップすると、その画面までに選んだ住所の代表地点を表示します。
- 場所によっては番地が抜けていたり、飛んでいる場合があります。

電話番号で探す

探す場所の電話番号を入力して探すことができます。

1 ［メニュー］をタップする

2 ［電話番号］をタップする

3 「数字」をタップして電話番号を入力し、［検索］をタップする

▼

入力した電話番号の検索結果がリストで表示されます。

※該当する施設が見つからない場合は、リスト付近の住所（市区町村）が表示されます。

［削除］：入力した数字を一文字削除します。

4 リストから場所をタップする

▼

選んだリストの地点を中心に「地点確認画面」が表示されます。

5 操作する項目をタップする

［ここへ行く］：探した地点を目的地に設定します。→（P24）「ルートを探索する」

［地点登録］：探した地点を登録します。→（P38）「地点を登録する（登録地・自宅）」

［地図を見る］：探した場所の地図を表示します。→（P23）「探した場所の地図を見る」

メモ

- 電話番号検索は法人電話帳などから検索されます。
- 市外局番と市内局番は必ず入力してください。
- 11 桁まで入力できます。
- 個人宅の電話番号からは検索できません。

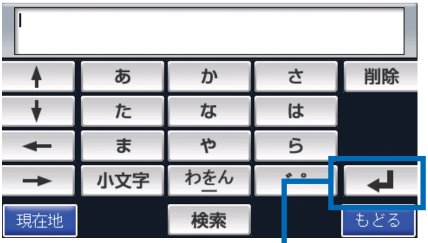
名称で探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探すことができます。

1 ［メニュー］をタップする

2 ［名称］をタップする

3 キーボードで名称を入力する



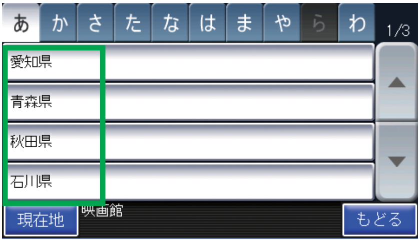
確定

メモ

- 「え」を入力したい場合は、「あ」を4回タップしてください。
- 文字の入力を終えたら、［ ↵ ］**確定**をタップしてください。
- ひらがな以外の入力はできません。カタカナ、漢字、ローマ字、数字などを含む施設を探すときも、すべてひらがなで入力します。
- 検索対象の文字数は 2 文字から 20 文字までです。入力文字数が 2 文字未満、21 文字以上入力された場合はエラーメッセージが表示されます。
- 名称はわかっている部分だけ入力して、検索することもできます。

4 名称の入力を終了してから［検索］をタップする

5 「都道府県」をタップする



▼

入力した名称の検索結果がリストで表示されます。

※検索結果が 1 件もない場合は「該当するデータがありませんでした。」の表示がされます。

6 リストから施設をタップする

▼

選んだリストの地点を中心に「地点確認画面」が表示されます。

7 操作する項目をタップする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。→（P24）「ルートを探索する」
[地点登録]：探した地点を登録します。→（P38）「地点を登録する（登録地・自宅）」
[地図を見る]：探した場所の地図を表示します。→（P23）「探した場所の地図を見る」

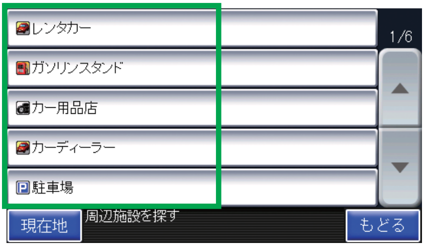
周辺の施設を探す

レストランやガソリンスタンドなど、現在地やスクロール先の周辺（半径 10km）施設を 100 件まで探すことができます。

1 ［メニュー］をタップする

2 ［周辺検索］をタップする

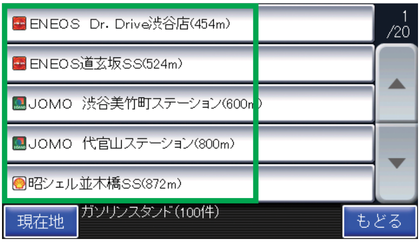
3 検索するジャンルをタップする



▼

選んだジャンルの検索結果がリスト表示されます。

4 リストから周辺施設をタップする



▼

選んだリストの地点を中心に「地点確認画面」が表示されます。

5 操作する項目をタップする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。→（P24）「ルートを探索する」

[地点登録]：探した地点を登録します。→（P38）「地点を登録する（登録地・自宅）」

[地図を見る]：探した場所の地図を表示します。→（P23）「探した場所の地図を見る」

ジャンルで探す

ジャンルリストから各種施設を探すことができます。

1 ［メニュー］をタップする

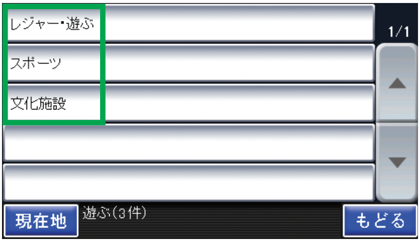
2 ［ジャンル］をタップする

3 探している施設のジャンルをタップする

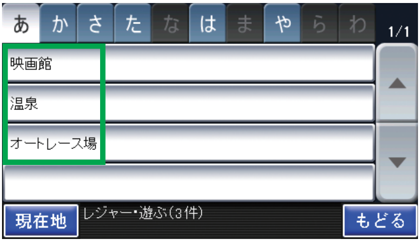
メモ

- 探すジャンルによっては、さらに詳細を絞り込むための画面が表示されます。表示される画面で探すジャンルをタップしてください。
- 絞り込む必要がないジャンルは、「都道府県」を選ぶ画面に切り替わります。

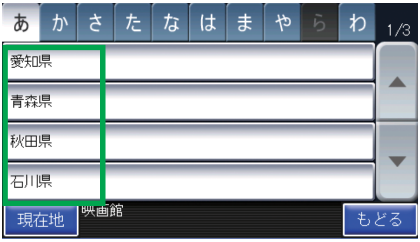
4 詳細なジャンルをタップする



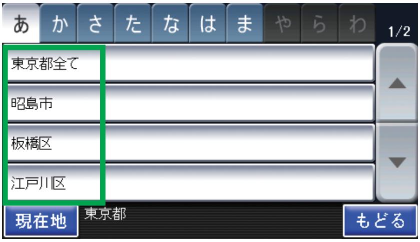
▼



5 「都道府県」をタップする



6 「市区町村」をタップする



▼

選んだジャンルの検索結果がリスト表示されます。

7 目的の施設をタップする

▼

選んだリストの地点を中心に地点確認画面が表示されます。

8 操作する項目をタップする

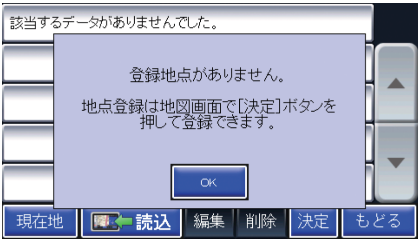
[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。→（P24）「ルートを探索する」
[地点登録]：探した地点を登録します。→（P38）「地点を登録する（登録地・自宅）」
[地図を見る]：探した場所の地図を表示します。→（P23）「探した場所の地図を見る」

登録した場所（登録地・自宅）から探す

登録されている場所（登録地・自宅）から探すことができます。

メモ

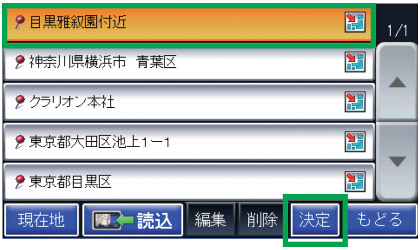
- 登録されている地点がない場合は、次の画面が表示されます。登録地については、（→P38）「地点を登録する」を参照してください。



1 ［メニュー］をタップする

2 ［登録地］をタップする

3 探している「登録地」をタップし、［決定］をタップする



▼

選んだリストの地点を中心に地点確認画面が表示されます。

4 操作する項目をタップする

［ここへ行く］：探した地点を目的地に設定します。→（P24）「ルートを探索する」

［地点登録］：探した地点を登録します。→（P38）「地点を登録する（登録地・自宅）」

［地図を見る］：探した場所の地図を表示します。→（P23）「探した場所の地図を見る」

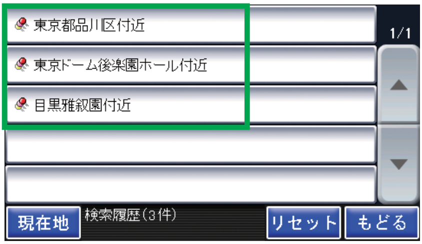
検索履歴から探す

過去に検索した場所（行き先）から探すことができます。

1 ［メニュー］をタップする

2 ［検索履歴］をタップする

3 履歴の地点をタップする



▼

選んだリストの地点を中心に「地点確認画面」が表示されます。

4 操作する項目をタップする

［ここへ行く］：探した地点を目的地に設定します。→（P24）「ルートを探索する」

［地点登録］：探した地点を登録します。→（P38）「地点を登録する（登録地・自宅）」

［地図を見る］：探した場所の地図を表示します。→（P23）「探した場所の地図を見る」

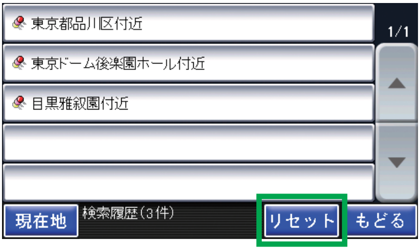
メモ

- 「ルート設定画面」まで表示させた最新の検索履歴 50 件までが表示されます。50 件を超えた場合、最も古い検索履歴から自動的に消去されます。
- 「検索履歴」で探した地点で、「ルート設定画面」までの操作を行うと、この地点が最新の履歴として追加されます。

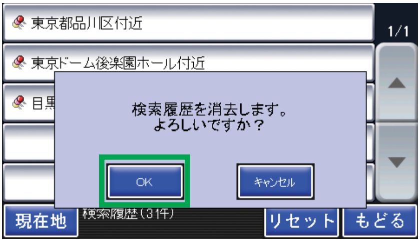
検索履歴を消去する

過去に検索した地点をすべて消去します。

1 「検索履歴画面」で［リセット］をタップする



2 [OK] をタップする



▼

すべての検索履歴が消去されます。

メモ

- １件ごとの履歴消去はできません。
- **[キャンセル]** をタップした場合は、消去を中止し、「検索履歴画面」に戻ります。

探した場所の地図を見る

1 場所を探す

住所で探す→ P14
電話番号で探す→ P16
名称で探す→ P17
周辺の施設を探す→ P18
ジャンルで探す→ P19
登録地・自宅から探す→ P21
検索履歴から探す→ P22

2 [地図を見る] をタップする

▼

地図が表示されます。

メモ

- 画面の位置（+）を修正する場合は、地図をスクロールして位置を修正します。→(P14)「地図画面で探す」

ルートを探索する

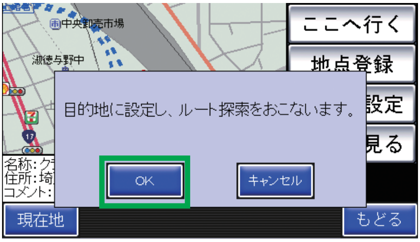
探した場所を行き先（目的地）として設定すると、現在地から目的地までのルートが探索され、「ルート確認画面」が表示されます。

1 行き先を探す

地図画面で探す→ P14
住所で探す→ P14
電話番号で探す→ P16
名称で探す→ P17
周辺施設で探す→ P18
ジャンルで探す→ P19
登録地・自宅で探す→ P21
検索履歴で探す→ P22

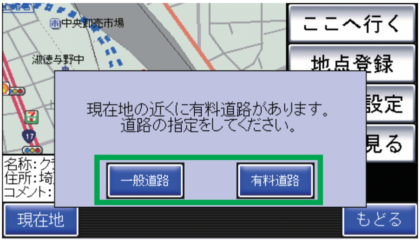
2 ［ここへ行く］をタップする

3 ［OK］をタップする



メモ

- 出発地・目的地周辺に有料道路がある場合は、「確認ダイアログ画面」が表示されます。**［有料道路］** または **［一般道路］** のどちらかを選びルートを設定します。



▼

行き先までのルートを探索し、「ルート確認画面」が表示されます。
［キャンセル］ をタップした場合は、ルート探索をキャンセルします。

4 ルートを確認する

ルート情報

[誘導開始]：ルート誘導を開始します。→（P29）「ルート誘導を開始する」
[ルート設定]：ルート探索条件を変更して、ルートの探索を行います。→（P26）「探索条件を変更して再探索する」
[デモ走行]：探索したルートをデモ走行します。→（P27）「ルートをデモ走行する」
[ルート削除]：探索したルートを削除します。→（P27）「ルートを削除する」
[経由地追加]：立ち寄る場所を追加します。→（P28）「経由地を追加する」

ルート情報

[料金]：行き先（目的地）までに利用する有料道路の料金を表示します。設定している車種に合わせた料金を表示します。
[時間]：行き先（目的地）到着までのおよその時間を表示します。
[距離]：行き先（目的地）までの距離を表示します。

メモ

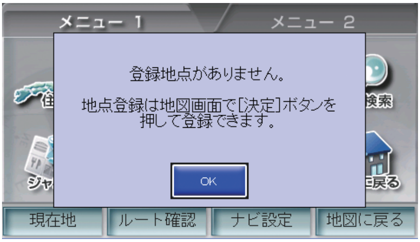
- ルート確認画面の地図はルート全域が入るスケールでノースアップ表示しますが、入るスケールが無い場合にはスタート地点を中心とした最大スケールで地図を表示し、地図の拡大・縮小は行えません。
- 「時間」は、各案内モードの基準値から算出して表示します。誘導を開始すると、実際の移動速度で再計算し、最新の時速で一定の時間ごとに更新した「時間」を表示します。

自宅までのルートを探索する

現在地から自宅として登録している場所までをルート探索することができます。

メモ

- 登録されている地点がない場合は、次の画面が表示されます。自宅については、（→P38）「地点を登録する（登録地・自宅）」を参照してください。

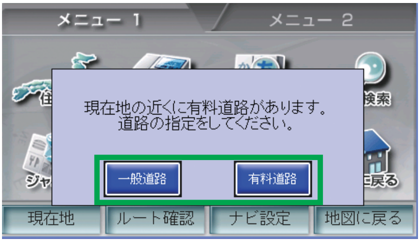


1 ［メニュー］をタップする

2 ［自宅に戻る］をタップする

メ モ

- 出発地・目的地周辺に有料道路がある場合は、「確認ダイアログ画面」が表示されます。**[有料道路]** または **[一般道路]** のどちらかを選びルートを設定します。



▼

自宅までのルートを探索し、「ルート確認画面」が表示されます。

[誘導開始]：ルート誘導を開始します。→（P29）「ルート誘導を開始する」
[ルート設定]：ルート探索条件を変更して、ルートの探索をします。→（P26）「探索条件を変更して再探索する」
[デモ走行]：探索したルートをデモ走行します。→（P27）「ルートをデモ走行する」
[ルート削除]：探索したルートを削除します。→（P27）「ルートを削除する」
[経由地追加]：立ち寄る場所を追加します。→（P28）「経由地を追加する」

探索条件を変更して再探索する

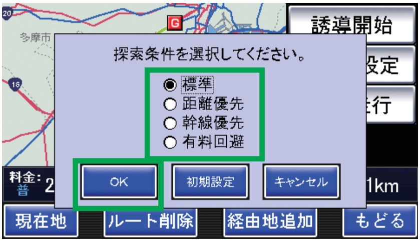
ルートの探索条件を変更して、ルートを再探索します。

メ モ

- 歩行者モードのときは操作できません。

1 「ルート確認画面」で **[ルート設定]** をタップする

2 「探索条件」をタップし、**[OK]** をタップする



[初期設定]：探索条件を初期設定（標準）に戻します。
[キャンセル]：ルート設定を中止し、「ルート確認画面」に戻ります。

探索条件

[標準]：標準的な探索条件でルートを探索します。
[距離優先]：距離を優先してルートを探索します。
[幹線優先]：主要道路の通行を優先してルートを探索します。
[有料回避]：有料道路を極力使用しない条件でルートを探索します。

▼

行き先までのルートを探索し、「ルート確認画面」が表示されます。

ルートを削除する

探索したルートを削除します。

1 「ルート確認画面」で[ルート削除]をタップする

2 [OK] をタップする

▼

ルートが削除されます。
[キャンセル] をタップした場合は、ルート削除を中止し、「ルート確認画面」に戻ります。

メモ

- ルートは、目的地に近づき「案内を終了します」の音声案内時に、自動的に削除されます。

ルートをデモ走行する

探索したルートをデモ走行し、事前に確認することができます。

1 「ルート確認画面」で［デモ走行］をタップする

▼

ルート誘導を開始します。
デモ走行中は、GPS 信号測位表示が「デモ走行中」に変わります。

「キャンセル」：デモ走行を中止し、ルート確認画面に戻ります。

経由地を追加する

探索したルートに経由地を追加します。

1 「ルート確認画面」で［経由地追加］をタップする

▼

「メニュー 1 画面」が表示されます。

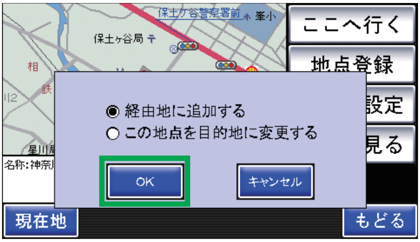
2 経由地の地図を表示して、［ここへ行く］をタップする

地図画面で探す→ P14
住所で探す→ P14
電話番号で探す→ P16
名称で探す→ P17
周辺の施設で探す→ P18
ジャンルで探す→ P19
登録地・自宅から探す→ P21
検索履歴から探す→ P22

▼

「経由地設定ダイアログ画面」が表示されます。

3 ［経由地に追加する］をタップして、［OK］をタップする



▼

経由地を設定して「ルート確認画面」が表示されます。

メモ

- 出発地・経由地周辺に有料道路がある場合は、「確認ダイアログ画面」が表示されます。**［有料道路］**または**［一般道路］**のどちらかを選びルートを設定します。
- **［この地点を目的地に変更する］**をタップし、**［OK］**をタップすると目的地を再設定して「ルート確認画面」が表示されます。

ルートを変更する

ルート探索後に行き先を変更してルートを設定しなおすことができます。

1 変更する行き先を探す

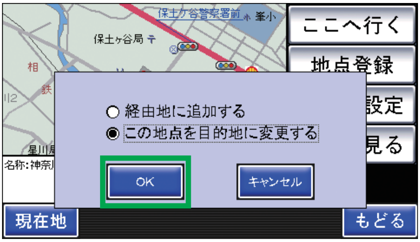
地図画面で探す→ P14
住所で探す→ P14
電話番号で探す→ P16
名称で探す→ P17
周辺の施設を探す→ P18
ジャンルで探す→ P19
登録地・自宅から探す→ P21
検索履歴から探す→ P22

2 [ここへ行く] をタップする

▼

「経由地設定ダイアログ画面」が表示されます。

3 [この地点を目的地に変更する] をタップし、[OK] をタップする



▼

目的地を設定して「ルート確認画面」が表示されます。

メモ

- 出発地・目的地周辺に有料道路がある場合は、「確認ダイアログ画面」が表示されます。**[有料道路]** または **[一般道路]** のどちらかを選びルートを設定します。
- **[経由地に追加する]** をタップし、**[OK]** をタップすると経由地に設定します。

ルート誘導を開始する

ルートが決まったら、ルート誘導を開始します。

1 [誘導開始] をタップする

2 移動を開始する

▼

移動を開始すると状況に応じて画面と音声でルート誘導を行います。目的地に近づくとルート誘導を終了し、ルートが削除されます。

ルート誘導中の案内について

ルート誘導を開始すると、「ルート誘導画面」が表示され、画面と音声で目的地まで設定したルートで誘導が行われます。

自動車・歩行者モード

走行軌跡表示
地図上の通過したルートを表示します。

目的地方向表示
現在地と目的地を結んだ線で、目的地の方向を表示します。

ラリービュー
誘導地点を矢印で表示します。最も近い誘導地点までの距離が表示されます。

目的地までの距離、到着予想時刻

GPS 信号測位状況表示
GPS 信号の測位状況を表示します。
未取得：
2 次元測位：
3 次元測位：

交差点名称
最も近い誘導地点の交差点名称を表示します。

方面看板 / レーン情報
案内中のルートの参考情報として方面看板と進行方向を案内するレーン情報を表示します。歩行者モード時は表示されません。

現在地の地名表示
現在地周辺の地名を表示します。

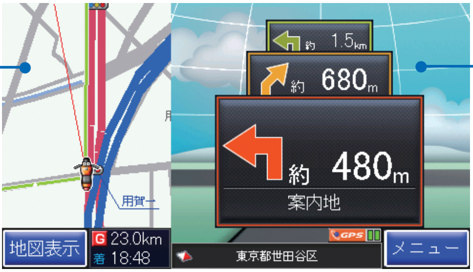
スケール［+］［−］
地図のスケールを変更します。

[メニュー]
[メニュー] をタップすると、「メニュー画面」に切り替わります。
(→ P12)「メニュー画面を表示する」

ライダーモード

地図表示

ラリービュー

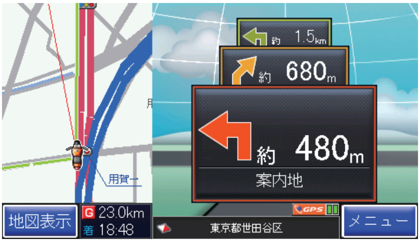


メモ

- 誘導を開始すると、誘導中の地図を 100 m スケールで表示します。スケールを変更すると、変更したスケールで地図を表示します。
- 誘導中に有料道路を走行すると、「ハイウェイモード」に切り替わり、誘導中の地図を 500 mスケールで表示します。(→ P32)「ハイウェイモード」
- 交差点名称、方面看板、レーン情報はデータが存在しない場合は表示されません。
- 方面看板、レーン情報は実際の標識と異なる場合があります。
- 誘導中のルートは、一般道路は黄緑色、有料道路は水色で表示されます。
- 走行軌跡表示を表示しない設定にすることもできます。→（P45）「走行軌跡表示を変更する」を参照してください。
- ルート誘導中に地図上をタップすると、「地図スクロール画面」が表示されます。音声の誘導は継続して行われます。**[現在地]** をタップすると「ルート誘導画面」に戻ります。
- 目的地に近づくと、「案内を終了します」の音声案内後誘導を終了し、通常の地図表示画面に切り替わります。
  走行軌跡はクリア操作するまで表示されます。古い軌跡は上書きされます。
- 歩行者モードで誘導中は、最寄りの一般道路を利用します。
- アイコンを表示する縮尺は、1/6250(50m) と 1/12500(100m) のみです。

ライダーモード

ライダーモードでは、右側にラリービュー（ライダーモード専用）、左側に地図画面が表示されます。→（P31）「ラリービュー画面」



ラリービュー画面

誘導地点までの距離に応じて、誘導矢印で方向を表示します。また、最も近い誘導地点までの距離がカウントダウンで表示されます。

自動車・歩行者モード

「ラリービュー画面」では誘導矢印が最大 4 つ先まで表示されます。

誘導矢印

カウントダウン表示

誘導矢印が自動車：300 m、歩行者：30m ライン以下にある場合は、最も現在地に近い誘導矢印が赤色で表示されます。
自動車：700 m、歩行者：70m 以内に複数の誘導地点が存在する場合は、自動車：700 m、歩行者：70m ラインより下方向に複数の誘導矢印が表示されます。

メモ

- 自動車モードで誘導中は、701m 以上、1km 以内に誘導地点がある場合、1km ラインに誘導矢印が表示されます。
- 歩行者モードで誘導中は、71m 以上 100m 以内に誘導地点のある場合、100m ラインに誘導矢印が表示されます。
- 誘導矢印は 7 方向が表示されます。

ライダーモード

ライダーモードでは、ラリービュー画面が常に画面右側に大きく表示されます。最大3つ先までの誘導矢印を表示します。

カウントダウン表示

誘導矢印　交差点名称

最も現在地に近い誘導矢印は、進行方向、現在地からの距離を表示します。現在地から700m以下になると、交差点名称が表示されます。300m以内になるとオレンジ色に変わります。
300m以内の誘導地点が複数ある場合は、すべてオレンジ色で表示されます。

また、最も現在地に近い誘導矢印をタップすると、交差点名称、レーン表示、交差点拡大図 (50mスケール) を全画面の地図表示で行い、案内ポイントの詳細情報を確認できます。地図表示の向きは北上固定になります。
画面にタップすると誘導画面に戻ります。

誘導地点の手前に近づくと

自動車・ライダーモードは300m以内、歩行者モードは30m以内に近づくと交差点が拡大表示されます。

メモ

- ライダーモードで全画面に地図表示をしている場合は、700mまたは300mの誘導地点を通過する際と、案内ポイントを通過した際 (0m) は、一時的に誘導画面に戻ります。
- 交差点名称、方面看板、レーン情報はデータが存在しない場合は表示されません。

ハイウェイモード

ルート誘導時に有料道路の入り口に近づくと、自動的に「ハイウェイモード画面」に切り替わります。

入口300m手前に近づくと

有料道路の入口300m手前から入口を通過するまで、左側に地図表示し、右側に入口イラストを表示して誘導します。

メモ

- 入口イラストのデータがない場合は、交差点オートズームが表示されます。

入口を通過すると

施設の情報を次の優先度で表示します。

1： ガソリンスタンド
2： 身障者用トイレ
3： レストラン
4： 土産物屋
5： 仮眠休憩所
6： インフォメーション
7： 風呂（温泉浴場）
8： FAX
9： 郵便ポスト
10： キャッシュディスペンサー

[施設送り] を 1 回タップする度に、表示する案内地を 1 つ先に進めます（1 つ後に戻します）。

※ルート上の案内地のみ表示できます。**[施設送り]** をタップすると、**[解除]** をタップできるようになります。
[解除] をタップすると、案内地表示が現在地を中心とした表示に変わります。

誘導地点 2km 手前に近づくと

音声で案内されます。
例：「およそ 2km 先、○○方面です。」

誘導地点 1km 手前に近づくと

音声で案内され、分岐・出口イラストが表示されます。

メモ

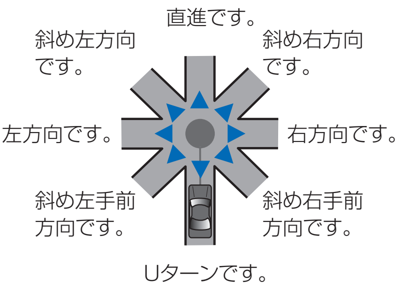
- 分岐イラストのデータがない場合は、分岐情報とレーン情報が表示されます。
- 分岐情報とレーン情報はデータが存在しない場合は表示されません。
- 有料道路の出口へ到達すると、自動的に通常の誘導画面へ切り替わって、引続き目的地までの誘導を行います。
- **[地図表示]** をタップすると「現在地画面」に切り替わります。「現在地画面」から誘導を再開するには **[現在地]** をタップしてください。
  ※誘導を再開したとき、GPS で測位した現在位置を考慮して誘導が再開されます。
  ※誘導再開時の現在地がルートから離れている場合はリルートを行います。
  ※GPS 測位状況によっては誤差が生じ、「ハイウェイモード画面」⇔「一般地図画面」に切り替わる場合があります。

音声による誘導

ルート移動中は、移動中の状況に合わせて音声で誘導が行われます。

移動方向の誘導例

移動方向（8 方向）は、音声で以下のように誘導されます。

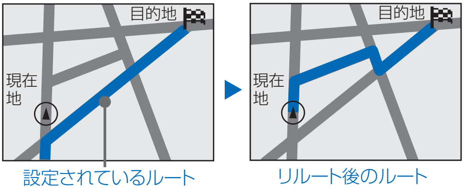


メモ

- 「目的地」、「経由地」、「有料道入口･出口」、「料金所」、「合流地点」、「側道」、「踏み切り」の手前で音声案内を行ないます。
- 誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。

オートリルートについて

誘導中のルートからはずれた場合、自動的にルートを再探索します。リルートが終了すると「リルートしました」とメッセージで案内されます。



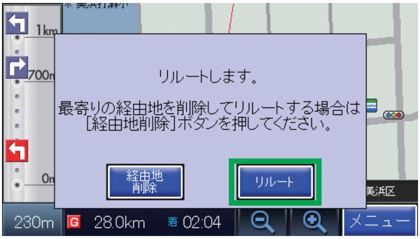
メモ

- リルートの条件は変更できます。
  →（P43）「リルートの設定を変更する」を参照してください。

経由地が設定されている場合

リルートするときに経由地が設定されている場合、最寄りの経由地を削除してリルートを行うかどうかの「確認ダイアログ画面」が表示されます。

1 リルートする項目をタップする



[経由地削除]：最寄りの経由地を削除してリルートします。
[リルート]：最寄りの経由地を経由してリルートします。

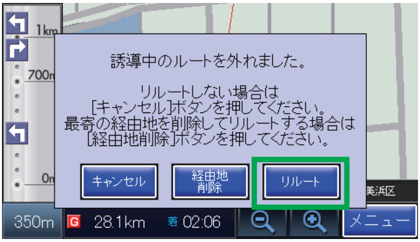
メモ

- 「確認ダイアログ画面」表示後、一定時間が経過すると「確認ダイアログ画面」を閉じて、リルートが行われます。

リルートを「手動」に設定している場合

リルートを開始するときに、リルートを行うかどうかの「確認ダイアログ画面」が表示されます。

1 [リルート] をタップする



[経由地削除]：最寄りの経由地を削除してリルートします。
[リルート]：最寄りの経由地を経由してリルートします。
[キャンセル]：リルートをキャンセルします。

メモ

- 「確認ダイアログ画面」表示後、一定時間経過するとリルートされずに「確認ダイアログ画面」を閉じます。
- リルートをキャンセルすると、「ルート誘導画面」の表示はそのままで誘導情報の一部（ラリービュー、目的地までの距離、到着予測時刻、交差点名称の表示と音声案内）が解除され、画面左下に **[リルート]** が表示されます。**[リルート]** をタップするとリルートが行われます。

条件を変えてルートを探索させる

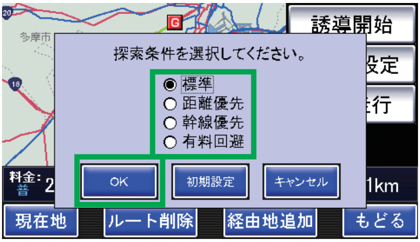
案内中のルートで探索条件を変えて再探索させることができます。

1 [メニュー] をタップする

2 [ルート確認] をタップする

3 [ルート設定] をタップする

4 「探索条件」をタップし、[OK] をタップする



[標準]：標準的な探索条件でルートを探索します。
[距離優先]：距離を優先してルートを探索します。
[幹線優先]：主要道路の通行を優先してルートを探索します。
[有料回避]：有料道路を極力使用しない条件でルートを探索します。

▼

選んだ探索条件でルートを再探索し、「ルート確認画面」が表示されます。

ルートを削除する

ルート誘導中に案内を途中で終了することができます。

1 ［メニュー］をタップする

2 ［ルート確認］をタップする

3 ［ルート削除］をタップする

4 ［OK］をタップする

▼

ルートが削除されます。

経由地を設定する

ルート上に立ち寄る場所を追加して、経由地を経由するルートを案内させることができます。経由地の設定は、目的地までのルートが設定されているときに行うことができます。

1 経由地に設定する行き先を探す

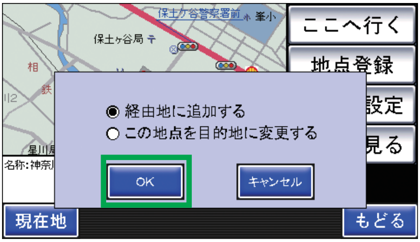
地図画面で探す→ P14
住所で探す→ P14
電話番号で探す→ P16
名称で探す→ P17
周辺の施設を探す→ P18
ジャンルで探す→ P19
登録地・自宅から探す→ P21
検索履歴から探す→ P22

2 [ここへ行く] をタップする

▼

「経由地設定ダイアログ画面」が表示されます。

3 「経由地に追加する」をタップし、[OK] をタップする



▼

経由地を設定して「ルート確認画面」が表示されます。

メモ

- 出発地・経由地周辺に有料道路がある場合は、「確認ダイアログ画面」が表示されます。**[有料道路]** または **[一般道路]** のどちらかを選びルートを設定します。
- **「この地点を目的地に変更する」** をタップし、**[OK]** をタップすると目的地を変更します。

4 ルートを確認する

[誘導開始]：ルート誘導を開始します。→（P29）「ルート誘導を開始する」
[ルート設定]：ルート探索条件を変更して、ルートの探索を行います。→（P26）「探索条件を変更して再探索する」
[デモ走行]：探索したルートをデモ走行します。→（P27）「ルートをデモ走行する」
[ルート削除]：探索したルートを削除します。→（P27）「ルートを削除する」
[経由地追加]：ルート上に立ち寄る場所を追加します。→（P28）「経由地を追加する」

メモ

- 経由地は最大５つまで登録できます。登録した順に経由地が追加されます。

経由地を削除 / 変更する

設定した経由地のみを削除または変更することはできません。
経由地を削除または変更する場合は、ルートを削除（→ P27「ルートを削除する」）してから新たにルート探索します。

地点を登録する（登録地・自宅）

自宅や良く行く場所を（自宅 1 件、地点 200 件まで）登録しておくと、ルート設定などの操作が簡単になります。登録する地点は、名称、コメント、アイコンの情報を登録することができます。

1 登録したい地点を探す

地図画面で探す→ P14
住所で探す→ P14
電話番号で探す→ P16
名称で探す→ P17
周辺の施設を探す→ P18
ジャンルで探す→ P19
登録地・自宅から探す→ P21
検索履歴から探す→ P22

2 ［地点登録］をタップする

3 「名称」または「コメント」の入力ボックスをタップする

▼

キーボードが表示されます。

4 名称とコメントを入力し、［↵］確定をタップしてから［完了］をタップする

5 「アイコン表示」をタップし、プルダウンメニューからアイコンを選ぶ

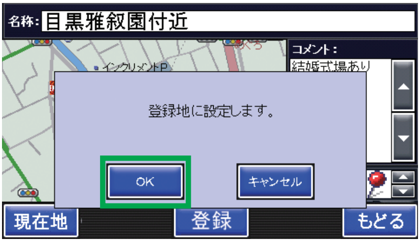
6 自宅として登録するときは、［自宅］をタップする

▼

チェックボックスにチェックマークが表示されます。

7 ［登録］をタップする

8 [OK] をタップする



[キャンセル] をタップした場合は、地点の登録をキャンセルします。

メモ

- 自宅が既に登録されている状態で自宅登録をする場合は、自宅を変更するかのダイアログ画面が表示されます。

9 登録地のリストを確認する

[編集]: タップした登録地を編集します。→ (P39)「登録地を編集する」
[削除]: タップした登録地を削除します。→ (P40)「登録地を削除する」
[決定]: タップした登録地を行き先に設定します。→ (P21)「登録した場所（登録地･自宅）から探す」

メモ

- 名称の入力文字数は 40 文字まで、コメントの入力文字数は 100 文字までです。
- 選択できるアイコンは 10 種類です。
- 並び順はアイコンの種類、登録日時によって変更されます。自宅はリストの一番目に登録されています。

登録地・自宅のアイコンを地図に表示する

地点（登録地または自宅）を登録しておくと、地図にアイコンを表示できます。→ (P38)「地点を登録する（登録地・自宅）」

1 [地図反映] をタップする

メモ

- 初期状態では、自宅アイコンは地図に反映、登録地アイコンは地図に非反映となります。
- アイコンが地図に表示されている地点は、**[地図反映]** の色が変更されます。
- 表示できるアイコンは最大 50 件です。50 件を越えた場合は、**[地図反映]** はタップできなくなります。

登録地を編集する

登録地を編集することができます。

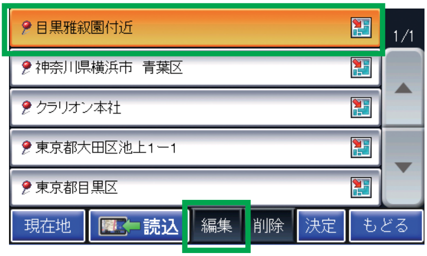
1 [メニュー] をタップする

2 [登録地] をタップする

▼

「登録地リスト画面」が表示されます。

3 編集する「登録地」をタップし、[編集] をタップする



▼

以降の操作は→（P38）「地点を登録する（登録地・自宅）」の *3* から *8* を参照してください。

登録地を削除する

不要になった登録地を削除することができます。

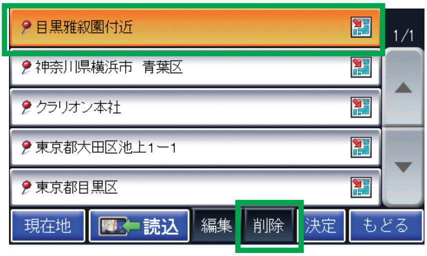
1 [メニュー] をタップする

2 [登録地] をタップする

▼

「登録地リスト画面」が表示されます。

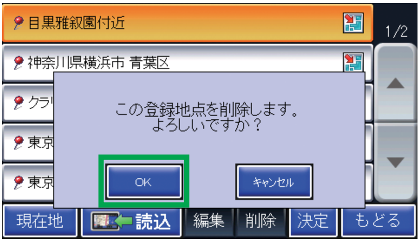
3 削除する「登録地」をタップし、[削除] をタップする



▼

「確認ダイアログ画面」が表示されます。

4 [OK] をタップする



▼

登録地が削除されます。

現在地を修正する

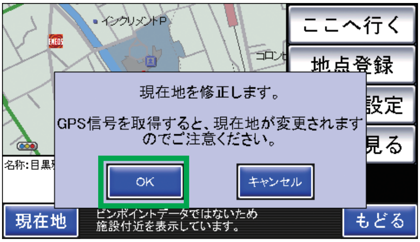
屋内など GPS 信号を受信できない場所にいる場合は、その場所を現在地に修正することができます。

1 現在地に修正する場所を探す

地図画面で探す→ P14
住所で探す→ P14
電話番号で探す→ P16
名称で探す→ P17
周辺の施設を探す→ P18
ジャンルで探す→ P19
登録地・自宅から探す→ P21
検索履歴から探す→ P22

2 [現在地設定] をタップする

3 [OK] をタップする



▼

「現在地画面」が表示されます。

メモ

- GPS 信号を取得すると、現在地がその地点に移動します。

登録地を SD カードから本体へコピーする

SD メモリーカードに保存した登録地の情報をコピーする（読込む）ことができます。
本機は、ドライブをもっとワクワクさせる地図コミュニティサイト「チズルとススム」からの地点登録に対応しています。SD カードに保存した「チズルとススム」の地点情報を本体にコピーすることができます。「チズルとススム」での地点情報の登録の仕方については、http://chizu-route-susumu.jp/ をご確認ください。本体に保存されている登録地への上書きは行いません。

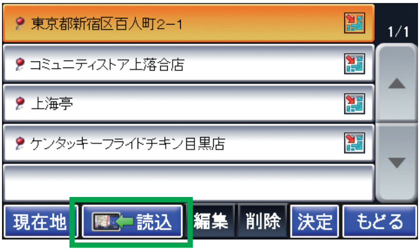
1 ［メニュー］をタップする

2 ［登録地］をタップする

▼

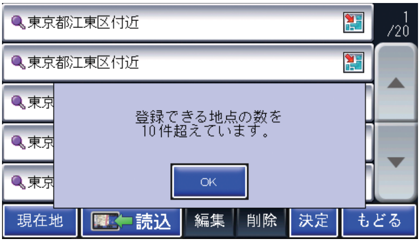
「登録地リスト画面」が表示されます。

3 ［SD 読込み］をタップする



▼

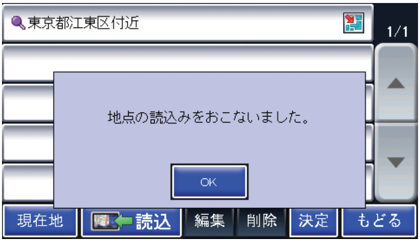
読込む登録地の数が多い場合は、エラーダイアログ画面が表示されます。表示される件数以上を削除することで、登録地の読込みが可能になります。



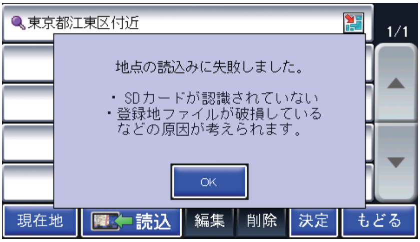
コピー中はカードの抜き差しは行わないでください。

4 **コピー結果が通知される**

本体に登録地がコピーされた場合



本体に登録地がコピーされなかった場合



メモ

- 一度登録地を SD 読込みした後、同じ登録地を再び SD 読込みした場合、同じ登録地が二重にコピーされてしまいます。

用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。

メモ

- ナビ設定では、項目を選んだ時点でその項目の内容で設定されます。
- **[現在地]** をタップすると、それまでに設定された内容で「現在地画面」に戻ります。
- **[もどる]** をタップすると、前の画面に戻ります。

ルート探索条件の設定を変更する

メモ

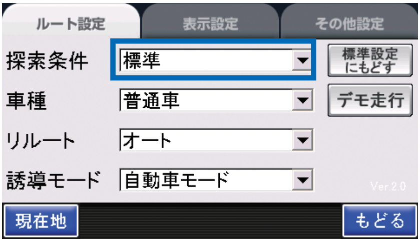
- 誘導モードを「歩行」に選んでいるときは、設定を変更できません。

1 **[メニュー]** をタップする

2 **[ナビ設定]** をタップする

3 **[ルート設定]** をタップする

4 「探索条件」のボックスをタップし、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ



[標準]：標準的な探索条件でルートが探索されます。（※ご購入時の設定です。）
[距離優先]：距離を優先してルートが探索されます。
[幹線優先]：主要道路を優先してルートが探索されます。
[有料回避]：有料道路を極力回避したルートが探索されます。

5 **[現在地]** をタップする

▼

設定を終了します。

車種の設定を変更する

1 **[メニュー]** をタップする

2 **[ナビ設定]** をタップする

3 **[ルート設定]** をタップする

4 「車種」のボックスをタップし、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ

[中型車]：有料道路の料金を中型車として計算します。
[普通車]：有料道路の料金を普通車として計算します。（※ご購入時の設定です。）
[軽自動車]：有料道路の料金を軽自動車として計算します。

5 **[現在地]** をタップする

▼

設定を終了します。

メモ

- 誘導中のルートがあるときは、変更できません。
- 誘導モードが歩行者となっているときは、変更できません。

リルートの設定を変更する

1 ［メニュー］をタップする

2 ［ナビ設定］をタップする

3 ［ルート設定］をタップする

4 「リルート」のボックスをタップし、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ

［オート］：誘導中のルートからはずれた場合、ナビゲーションがルートからはずれたと判断すると自動的にリルートを行い、目的地までのルートを探索し直します。
［手動］：リルートの開始を手動で行います。

5 ［現在地］をタップする

▼

設定を終了します。

メモ

- リルート設定で「手動」にした場合、誘導中にルートを外れると「ルートからはずれました」の案内と同時にリルートを行うかどうかの「確認ダイアログ画面」が表示されます。**［リルート］**をタップすると、リルートが行われます。

誘導モードの設定を変更する

メモ

- 案内ルートがある場合は、自動車・ライダーモード⇔歩行者のモード切替はできません。

1 ［メニュー］をタップする

2 ［ナビ設定］をタップする

3 ［ルート設定］をタップする

4 「誘導モード」のボックスをタップし、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ

［自動車モード］：自動車の運転に必要な情報が誘導中に表示されます。
［ライダーモード］：画面を見ながらバイクの運転ができるように、誘導中はラリービューが大きく表示されます。
探索ルート、料金表示は自動車と同じです。
［歩行者モード］：歩行時に必要な情報が誘導中に表示されます。
探索ルートは一方通行等の交通規制を反映しないものになりますが、歩行者専用道等を利用するものではありません。

5 ［現在地］をタップする

▼

設定を終了します。

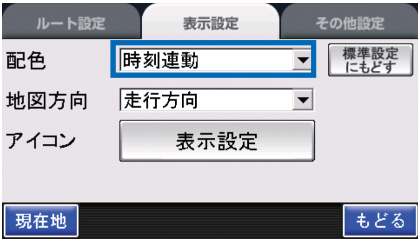
地図の配色を変更する

1 ［メニュー］をタップする

2 ［ナビ設定］をタップする

3 ［表示設定］をタップする

4 「配色」のボックスをタップし、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ



［時刻連動］：日の出時刻と日の入り時刻で自動的に配色を切り替えて、時刻に適した配色で表示します。（※ご購入時の設定です。）
［昼］：昼の移動に適した配色で表示します。
［夜］：夜の移動に適した配色で表示します。
［屋外］：明るい屋外の移動に適した配色で表示します。

5 ［現在地］をタップする

▼

設定を終了します。

メモ

- 地図画面の配色を変更しますが、ルート誘導中の交差点表示、施設情報表示、ラリービューなどの配色は変わりません。

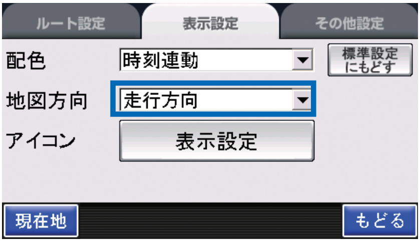
地図表示の向きを変更する

1 ［メニュー］をタップする

2 ［ナビ設定］をタップする

3 ［表示設定］をタップする

4 「地図方向」のボックスをタップし、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ



［走行方向（ヘディングアップ）］：進行方向が常に上になるよう、地図が自動回転します。（※ご購入時の設定です。）
［北上固定（ノースアップ）］：常に北が上になるように地図が表示されます。

5 ［現在地］をタップする

▼

設定を終了します。

メモ

- 「走行方向（ヘディングアップ）」の設定で、ルート誘導中に地図をスクロールした場合はスクロール開始時の表示方向で固定したままスクロールします。**［現在地］**をタップして「ルート誘導画面」に戻ると、ヘディングアップで表示します。

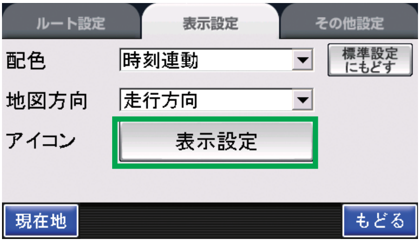
地図のアイコン表示を変更する

1 ［メニュー］をタップする

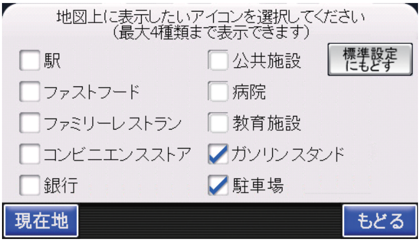
2 ［ナビ設定］をタップする

3 ［表示設定］をタップする

4 「アイコン」の［表示設定］をタップする



5 地図上に表示したいアイコンのチェックボックスをタップする



6 ［現在地］をタップする

▼

設定を終了します。

メモ

- ご購入時、「ガソリンスタンド」と「駐車場」が選択されています。
- 選択できるアイコンは４つまでです。アイコンを４つ選び、他のアイコンを選ぶ場合は、不要なアイコンのチェックをはずしてから選んでください。
- この設定画面で **［標準設定に戻す］** をタップすると、アイコン表示のみがご購入時の状態に戻ります。

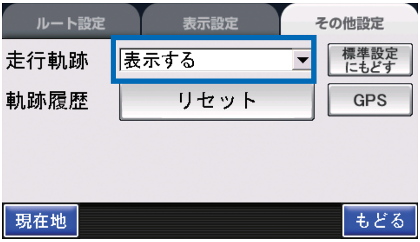
走行軌跡表示を変更する

1 ［メニュー］をタップする

2 ［ナビ設定］をタップする

3 ［その他設定］をタップする

4 「走行軌跡」のボックスをタップして、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ



［表示する］：走行軌跡を表示します。（※ご購入時の設定です。）
［表示しない］：走行軌跡を表示しません。

5 ［現在地］をタップする

▼

設定を終了します。

メモ

- 軌跡表示は表示スケールに関係なく 50m 間隔で表示されます。また、表示される走行距離は 100km までです。

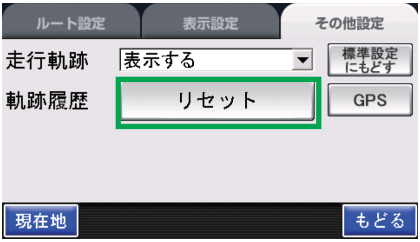
走行軌跡を消去する

1 ［メニュー］をタップする

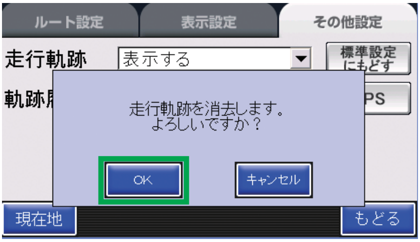
2 ［ナビ設定］をタップする

3 ［その他設定］をタップする

4 ［リセット］をタップする



5 ［OK］をタップする



6 ［現在地］をタップする

▼

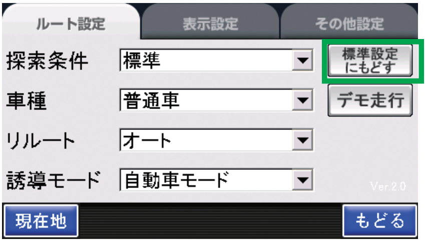
設定を終了します。

設定をご購入時の状態に戻す

1 ［メニュー］をタップする

2 ［ナビ設定］をタップする

3 ［標準設定に戻す］をタップする



4 ［現在地］をタップする

▼

設定を終了します。

メモ

- 「ナビ設定画面」で設定したすべての項目がご購入時の状態に戻ります。
- 「ナビ設定画面」の2、3ページ目の **［標準設定に戻す］** でも、設定したすべての項目がご購入時の状態に戻ります。

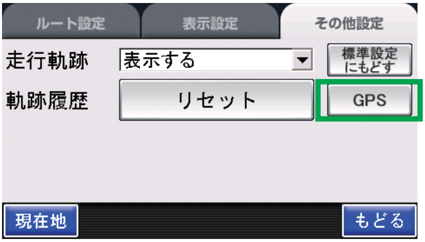
GPS の測位状態を確認する

1 ［メニュー］をタップする

2 ［ナビ設定］をタップする

3 ［その他設定］をタップする

4 ［GPS］をタップする



▼

「測位状態表示画面」が表示されます。

衛星測位状態

測位できた GPS の個数が表示されます。

詳細情報

測位データから緯度、経度、方向、速度、高度、測位が表示されます。

5 ［現在地］をタップする

▼

「現在地画面」に戻ります。

メモ

- 高度、速度の情報はある程度の誤差が含まれます。

デモ走行でルート誘導を確認する

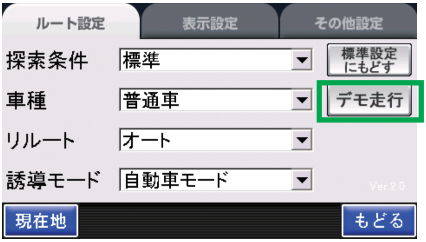
デモ走行で確認できるルート誘導は、あらかじめインストールされているルートのデータが使用されます。

1 ［メニュー］をタップする

2 ［ナビ設定］をタップする

3 ［ルート設定］をタップする

4 ［デモ走行］をタップする



▼

「デモ走行画面」が表示され、デモ走行を開始します。

5 ［キャンセル］をタップする

▼

デモ走行を中止します。

6 ［現在地］をタップする

▼

設定を終了します。

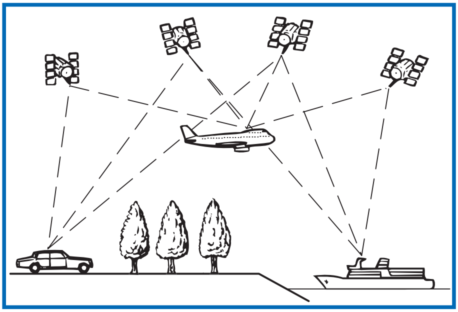
メモ

- ルートが設定されている場合は、この「デモ走行」は選択できません。

ナビゲーションのしくみ

GPS による測位

GPS 衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。
GPS 衛星は、地球の周り高度 21,000 km に打ち上げられています。3 つ以上の GPS 衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。
GPS による測位には、3 次元測位と 2 次元測位の 2 種類があります。

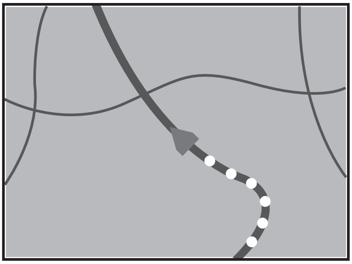


種類	内容
3 次元測位	GPS 衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度･経度･高度の 3 次元で測位できる。
2 次元測位	GPS 衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の 2 次元で測位する。高度は測位できないため、3 次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなる。

マップマッチング

GPS による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしている場合

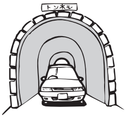


誤差について

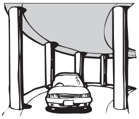
次のような状況のときは、誤差が大きくなることがあります。

GPS 測位不可による誤差

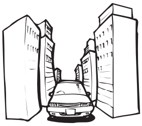
- 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。



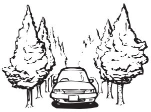
トンネルの中や
ビルの駐車場



2層構造の高速道路
の下



高層ビルの群集地帯



密集した樹木の間

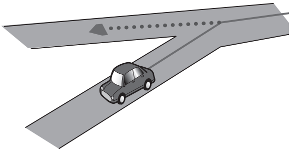
- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的に GPS 衛星の電波を受信できなくなることがあります。
  ※車載のテレビで 56 チャンネル (UHF) を受信している。
  ※GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。

GPS 衛星自体による誤差

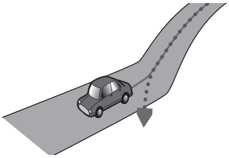
- GPS 衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 測位（受信）できる衛星の数が少ないときは、2 次元測位となり、誤差が大きくなります。

その他の誤差について

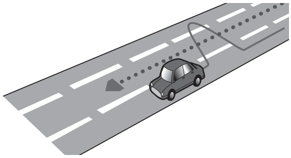
- 角度の小さな Y 字路を走った場合。



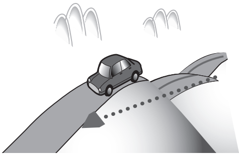
- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。



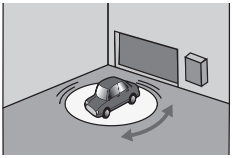
- 蛇行運転をした場合。



- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。

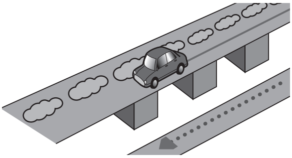


- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。

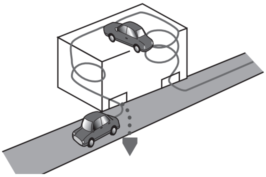


- ヘアピンカーブが続いた場合。

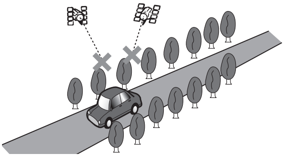
- 道路が近接している場合 (有料道路と側道など)。



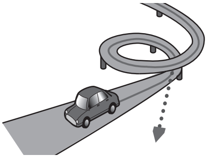
- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。



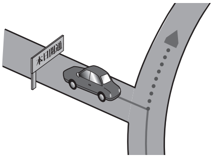
- GPS による測位ができない状態が長く続いた場合。



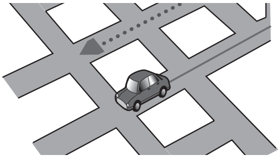
- ループ橋などを通った場合。



- 地図情報にはない新設道路を走った場合。



- 碁盤の目状の道路を走った場合。



- 工場などの施設内の道路を移動中、施設に隣接する道路に近づいた場合。

収録されている地図情報について

場所を探すベースとなっているデータによっては、表示されるポイント（位置）が実際のポイントと離れている場合があります。

電話番号検索のデータについて

- 電話番号検索のデータとして、「日本ソフト販売（株）」の「Bellemax」より約 800 万件のデータが収録されています。
- 電話番号検索で使用しているデータは、ハローページ「2007 年 1 月号」のデータを使用しています。

アイコン表示について

- アイコンが表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

ルートに関する注意事項

ルート探索の仕様

- ルート探索をすると、目的地までのルート / 音声案内が設定されます。曜日、時刻規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に移動すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。
  移動するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- 出発地、目的地、経由地が細街路（5.5m 以下）上、またはその近辺にある場合、最寄りの広い道路からルートが探索されます。
- 本州〜北海道、本州〜四国、本州〜九州のルートも設定できます（本州〜北海道などのフェリーが運行されている場合には、航路を使うルートが探索されます）。
- 長距離のルート探索を行う場合は、探索に時間がかかります。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。

ルート探索のしかた

- 現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を誘導するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに設定してください。
- 有料道路回避では、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
- 場所によってはルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点」付近に経由地を設定してみてください。

ルートの道塗りについて

- 道路形状によっては、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、経由地の前後では道塗りされない場合があります。

音声案内について

- 有料道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口施設」と「料金所」は音声案内されないことがあります。

ルート確認画面での有料道路料金について

- 高速道路 (有料道路を含む) 料金表データは 2007 年 4 月調査で 2007 年 10 月 1 日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車の料金を取得します。
- 特殊な料金体系の有料道路では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、その道路の料金は合計料金に含まれません。

- 料金計算ができないルートの場合は、「****」と表示されます。
- 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 有料道路上およびランプ上からルートを探索したときや、有料道路上に目的地や出発地を設定したときは、有料道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、誘導されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 有料料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。

オートリルートについて

- リルートする場合、ルートをはずれた地点を出発地とするルート探索を行います。
- 目的地、経由地付近の時間規制がある場合は、規制を無視するルートを引く場合があります。

地図データについて

●この地図の作成に当たっては、国土交通省国土地理院の承認を得て、同院発行の2.5万分の1地形図及び20万分の1地勢図を使用しました。
(測量法に第30条に基づく成果使用承認 平18企指公第1号、 平8総使第31号)

●この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベース（©2007 財団法人日本デジタル道路地図協会 2007年3月発行）を使用しました。
（測量法第44条に基づく成果使用承認 06-041）

●この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の2500分の1国土基本図を使用しました。
（承認番号）平成10年 小田原市指令第52号

●この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1の都市計画基本図を使用しました。
（測量法第44条に基づく成果使用承認　平成12年度 知都発第170号）

●この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の2500分の1都市計画図を使用しました。
(平成12年　養建第1902号)

●この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の2500分の1全図を使用し、調整しました。
（承認番号）平10．近公．第34号

●この地図は大木町の承認を得て、同町発行の5,000分の1の地形図を使用し調整したものです。
（承認番号)15大木建第734号

●この地図は、堀金村長の承認を得て1/2,500の都市計画図を参照して作成したものです。
(承認番号)16堀第5417号

●この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図1/2,500使用し、調製したものである。
（承認番号　東開第111号　平成18年2月28日承認）

●この地図は、伊香保町長の承認を得て、平成7年度作成の10,000分の1の白図を使用し、調整したものです。
（承認番号)伊建農発229号

●この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を使用して作成したものである。
(承認番号:18東デ共041号)

●この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものである。
(承認番号)18都市基交 第478号

●この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画(1/2,500)を使用して調整したものです。
(承認番号 平成17年津山市使用承認第5号)

●この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。
(承認番号)指令宇都第13号

●この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。
(承認番号)指令宇都第14号

●この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものである。
(承認番号)周防建設第56号

●この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図1/10,000及び東かがわ市都市計画図1/2,500を使用して調整したものである。
(承認番号平成18年5月2日18建第107号)

●この測量の成果は、東温市長の承認により、平成17年3月作成の東温市都市計画図を使用して得たものである。
(承認番号H18東温都第174号)

注意事項

●データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。

●いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

交通規制データについて

●本品に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制番号図を用いて、(財)日本交通管理技術協会(TMT)が作成したものを使用しています。TMT承認番号07-232

●本品に使用している交通規制データは、2006年4月リリースのKKD提供データをベースに2006年9月独自調査の結果を反映したものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従って下さい。

●信号機データはKKD提供データをベースに2006年9月独自調査の結果を反映しています。

●一般道方面看板は2006年9月独自調査の結果を反映しています。

●レーン情報は2006年9月独自調査の結果を反映しています。

●新規開通高速道路は2007年4月の調査時点で2007年10月1日までに供用される新規道路を収録の対象とします。(但し、道路形状と基本的属性のみとなります)
路線名称未定の路線については、仮名称で対応します。

●高速施設は2007年4月調査で2007年10月1日時点に供用されている施設を取得します。
自然災害による道路形状の変更等につきましては対応いたしかねます。

●本品に使用している交通規制データを無断で複写・複製・加工・改変する事は出来ません。

注意事項

●この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車、歩行者等の規制は含まれておりません。
あらかじめご了承ください。

その他 © 記載

©2006. TMT
©2007. (財団法人)日本デジタル道路地図協会
©2007. INCREMENT P CORP.

使用許諾契約書

本使用許諾契約書（以下、「本契約書」といいます。）は、DrivTrax P50/P55/P7DT/P75DT（以下、「本製品といいます。）用のアプリケーションソフトウェア、地図データ、検索情報データその他コンテンツ情報データ等（以下、「本ソフト」といいます）の使用権をお買い上げいただいたお客様（以下、「お客様」といいます。）とインクリメントP株式会社（以下、「弊社」といいます。）との間に締結される法的な契約書です。本ソフトをインストールまたは使用することによって、お客様は本契約書の条項に拘束されることに同意されたものとします。本契約書の条項に同意されない場合、弊社は、お客様に本ソフトのインストールまたは使用のいずれも許諾できません。

1. 本ソフトの使用許諾

(1) 本ソフトは、著作権法をはじめ、その他の産業財産権に関する法律および条約によって保護されています。本ソフトの著作権その他産業財産権は、弊社または弊社に権利を許諾した第三者に帰属します。

(2) 弊社は、お客様が、本ソフトを一時点において 1 台の本製品でのみ使用することができる非独占的な権利をお客様に許諾します。

2. 制限事項

(1) お客様は、本契約書に明記されている場合を除き、本ソフトの一部または全部をインストール、複製、使用または改変等することはできません。

(2) お客様は、本ソフトの一部でも複製、抽出、転記、改変、公衆送信することまたは同時に 2 台以上の本製品で同時に使用することはできません。

(3) お客様は、有償・無償を問わず、本ソフトの一部または全部を第三者に譲渡、再使用許諾、貸与等することはできません。

(4) お客様は、本ソフトに関し、本契約書において許諾された以外の使用をすることはできません。

(5) お客様は、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルその他これらに準ずる行為を行うことはできません。

3. 保証

法律上の請求原因の種類を問わず、弊社は、本契約書または本ソフトに含まれるマニュアル等の文書に明記されている場合を除き、本ソフトを現状有姿のまま瑕疵を問わない条件で提供するものとします。本ソフトの正確性、完全性、有用性、特定の目的に対する適合性、応答の的確性、使用結果、権利侵害の不存在および過失の不存在について、明示または黙示、あるいは法律上のものであるとを問わず、一切保証できません。

4. 免責

弊社は、本ソフトの使用もしくは使用不能により、お客様または第三者に生じた特別損害、付随的損害、間接損害、派生的損害またはその他の一切の損害 (逸失利益、機密情報もしくはその他の情報の喪失、事業の中断、プライバシーの喪失、誠実または合理的な注意義務を含めた義務の不履行、人身傷害またはその他の金銭的損失を含みますがこれらに限定されません。) に関して一切責任を負いません。

5. 責任の制限

本ソフトに関する弊社のお客様に対する損害賠償責任の範囲は、本ソフトの使用もしくは使用不能により、お客様に直接かつ生ずべき損害（弊社が予見しまたは予見できた場合を含みます。）に限られるものとし、その賠償額は、本ソフトと同等の機能を有する弊社製品の標準的価格を限度とします。

6. 輸出規制

お客様は、すべての輸出入関連適用法令（関連する禁輸措置および制裁措置を含みます）を遵守することに同意されたものとします。

7. 契約の終了

（1）弊社は、お客様への通知またはウェブサイト上での表明を行なうことにより、いつでも本契約を終了させることができます。

（2）お客様が本契約中のいずれかの条項の一つに違反した場合、弊社からの通知を要することなく、自動的に本契約は終了します。

（3）本契約が終了した場合には、お客様は、自己が保存した本ソフト（本契約に違反して作成された複製物等を含みます。）の全てを消去するものとします。

（4）お客様は、理由の如何を問わず、本契約の終了について、弊社および弊社が使用許諾を受けている権利者に対して補償金その他如何なる目的での支払いも請求できないものとします。

8. 管轄裁判所

お客様と弊社との間で紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

9. 準拠法

本契約は、日本国法に準拠するものとします。

10. 協議

本契約書に定めのない事項または本契約書の各条項の解釈について疑義が生じた場合は、お客様および弊社は、信義に従い誠意をもって協議し解決するものとします。

クラリオン株式会社

本社事務所
〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7-2
Clarion ホームページ　http://www.clarion.com

お問い合わせはお客様相談室へ
フリーダイヤル:0120 -112 -140
（9：00〜12：00·13：00〜17：30/土・日・祝祭日を除く）

ご購入年月日	年　　月　　日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

＊お客様へ … ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、
あとでお問い合わせされるときに便利です。

2008/2　QX-3010A/QX-3020A

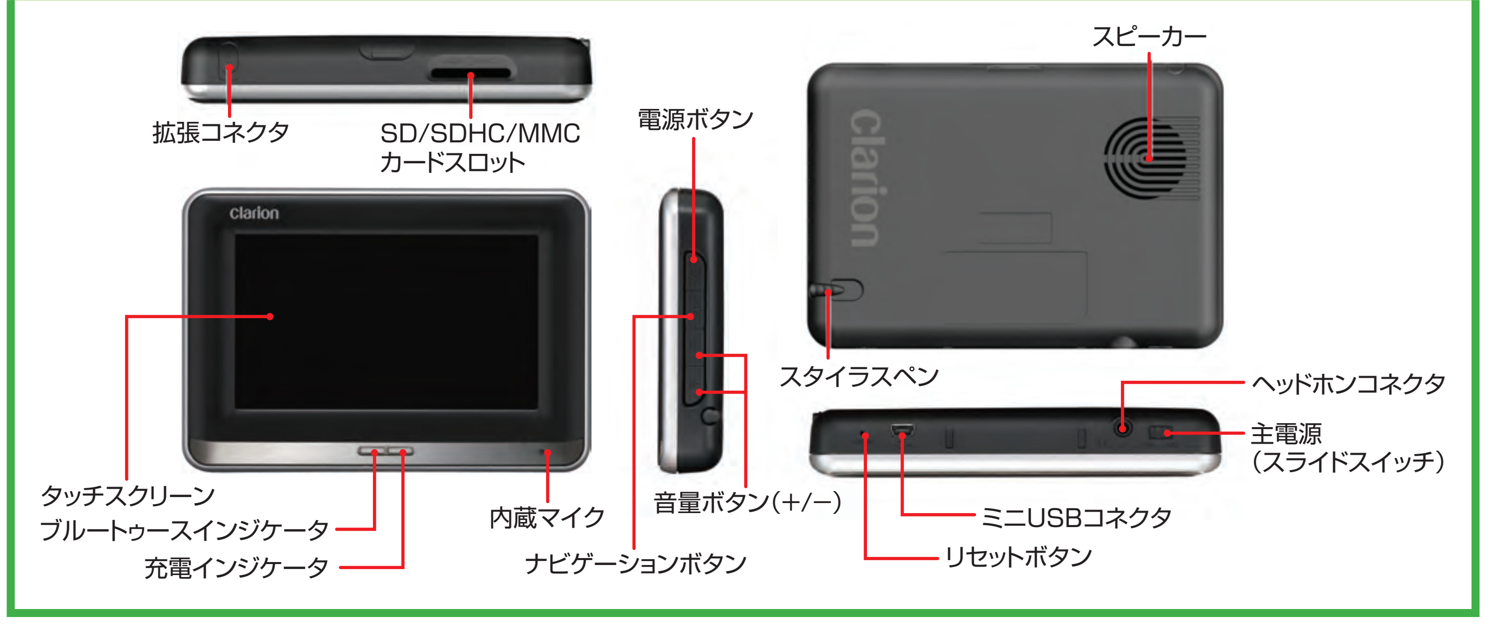
clarion

DrivTrax P50
DrivTrax P55
ドリブトラックス P50/P55
パーソナル ナビゲーション デバイス

クイックスタートガイド

ROAD EXPLORER LITE 2.0

各部の名前



3 車に取り付ける

車載用キットを使用して取り付けます。

❶取り付け場所の油分などを取り除き、丸い接着板を貼り付けます。

⚠注意
十分な接着力がでるのに 24 時間かかります。

❷スタンドを吸着盤で取り付けます。

❸スタンドにホルダーを差し込みます。
❹ホルダーに本機を差し込み、内蔵の GPS アンテナが空を向くように角度を調節します。

⚠注意
GPS が最初に現在地を測位するのに数分かかることがあります。

カーチャージャーのコネクタをミニ USB コネクタに接続し、プラグを車の電源ソケット（12V）に差し込みます。

⚠注意
必ずエンジンを始動させてから、カーチャージャーを接続してください。

充電中は充電インジケータが点灯します。

⚠警告 設置場所について
- 本機は運転の妨げにならない適切な場所に設置してください。
- 窓に設置することは視界の妨げになり、危険ですのでおやめください。

1 最初に使うときは

本機を最初に使うときには、主電源（スライドスイッチ）ON にします。

本機が起動し、ホーム画面が表示されます。

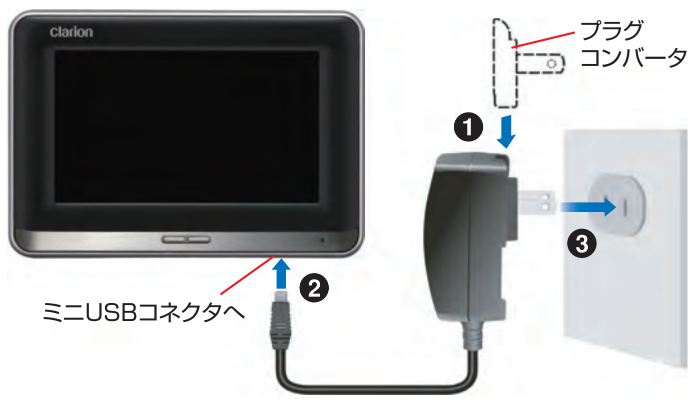
ホーム画面

●本機は使用中フリーズしたり "致命的なアプリケーションエラー" という表示が出る場合がありますが故障ではありません。このような場合リセットやスライドスイッチでオフにすると回復いたします。回復しない場合はご購入店様にご相談ください。

2 バッテリを充電する

❶AC アダプタにプラグコンバータを取り付け、❷コネクタをミニ USB コネクタに接続します。❸プラグを家庭用電源コンセントに差し込みます。

※ バッテリを最初に使用する場合、使用する前に 8 時間以上充電してください。



充電中は充電インジケータがオレンジ色に点灯し、充電が完了すると緑色の点灯に変わります。

⚠警告 バッテリについて
- 温度が高い場所や直射日光が当たる場所などでバッテリを充電しないでください。
- 充電の前に、バッテリを完全に放電させる必要はありません。
- 製品を長期間使用しなくても、バッテリは 2 週間に 1 度は充電してください。バッテリの放電が進み過ぎると、充電性能に影響することがあります。

4 基本の使いかた

電源の ON/OFF

電源ボタンを押し、電源を ON/OFF します。

※ 必ず底面の主電源（スライドスイッチ）を ON にしてください。

スタイラスペン

メニューの選択や文字の入力など画面操作は、スタイラスペンによって行います。

以下の使いかたができます。

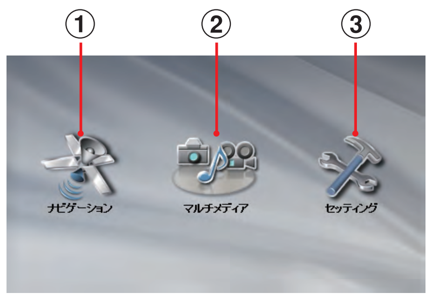
タップ ..... 画面を軽くたたいてメニューの選択・決定などをします。

ドラッグ .... 画面に触れたまま、上下左右または斜めに移動させます。

タップアンドホールド .... 動作が完了するまでまたはメニューや結果が表示されるまで、画面に触れ続けます。

ホーム画面

ホーム画面から使用するアプリケーションを選択します。



① ナビゲーション
ナビゲーションが起動します。
② マルチメディア
マルチメディアのアプリケーションメニューが表示されます。
③ セッティング
各種の設定を行います。

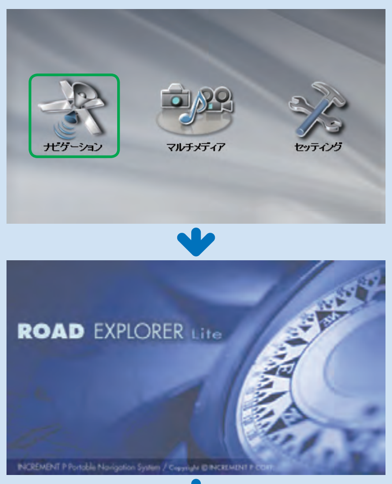
マルチメディアメニュー画面

ホーム画面からマルチメディアをタップすると表示します。

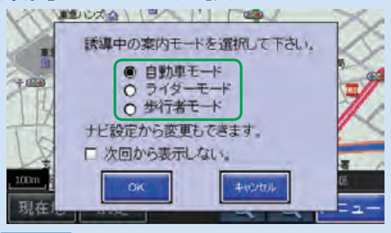
① ビデオ
WMV などのビデオファイルの再生をします。
② オーディオ
MP3 など音楽ファイルの再生をします。
③ ピクチャー
写真を表示します。

5 ナビゲーションの使いかた

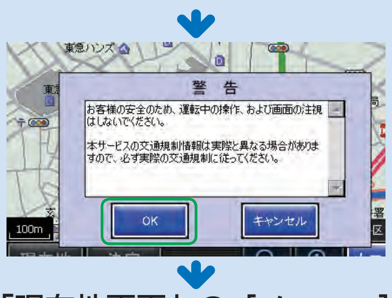
ナビゲーションメニュー画面を表示させる



案内モードを選択する。



メモ
- ライダーモードの探索ルート、料金表示は自動車モードと同じです。
- 歩行者モードの探索ルートは自動車モードと違い、一方通行を無視して最短ルートを探索しますが、歩行者用道路は探索しません。



「現在地画面」の［メニュー］をタップする。

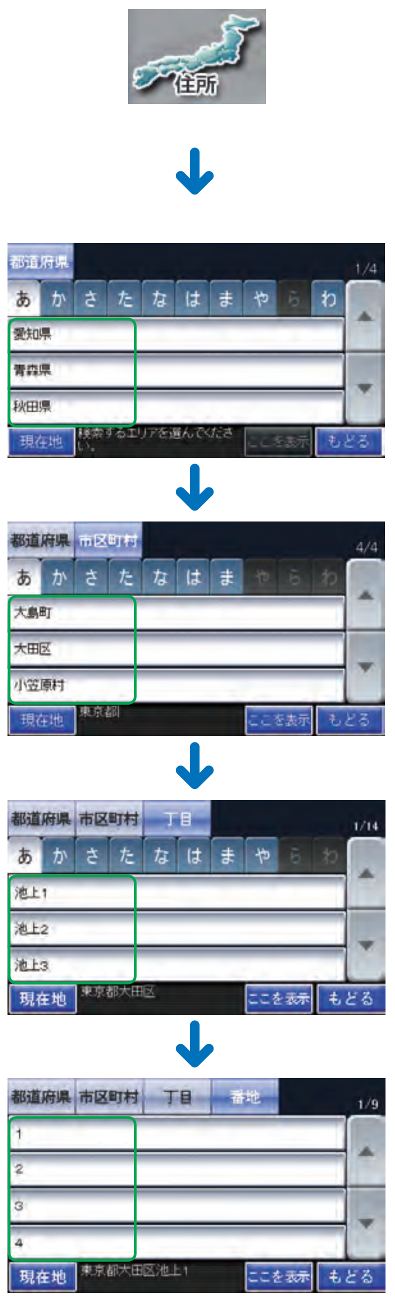
ナビゲーションメニュー画面（メニュー 1）

場所（行き先）を探す

ナビゲーションメニューから検索アイコンをタップする

住所から探す

住所で行き先を探します。番地まで入力して探すことができます。



名称から探す

宿泊施設やレジャー施設などを名称で探すことができます。

キーボードで名称を入力する。

メモ
- 「え」を入力したい場合は、「あ」を4回タップしてください。
- 文字の入力を終えたら、[↵] **確定**をタップしてください。
- ひらがな以外の入力はできません。カタカナ、漢字、ローマ字、数字などを含む施設を探すときも、すべてひらがなで入力します。
- 検索対象の文字数は 2 文字から 20 文字までです。入力文字数が 2 文字未満、21 文字以上入力された場合はエラーメッセージが表示されます。
- 名称はわかっている部分だけ入力して、検索することもできます。

ジャンルから探す

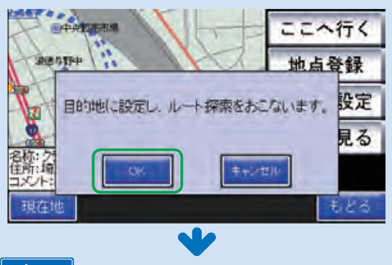
ジャンルリストから各種施設を探すことができます。

※行き先の探しかたのメニューには、この他「電話番号」、「周辺検索」、「登録地」、「検索履歴」、「自宅に戻る」があります。

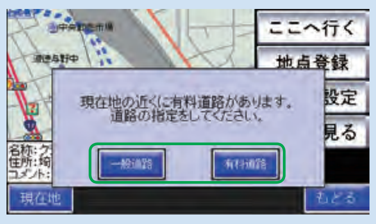
ルートを探索する

［ここへ行く］をタップする。

［OK］をタップする。



メモ
- 出発地・目的地周辺に有料道路がある場合は、「確認ダイアログ画面」が表示されます。**［有料道路］**または**［一般道路］**のどちらかを選びルートを設定します。



行き先までのルートを検索し、「ルート確認画面」が表示されます。

ルート誘導を開始する

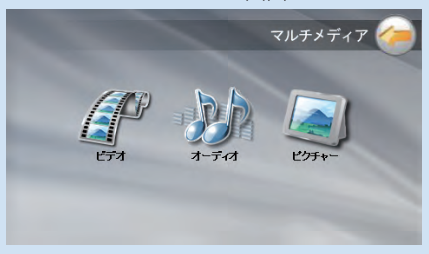
［誘導開始］をタップする。

「ルート誘導画面」が表示され、ルート誘導を開始します。

6 その他のアプリケーションの使いかた

マルチメディアメニュー画面を表示させる

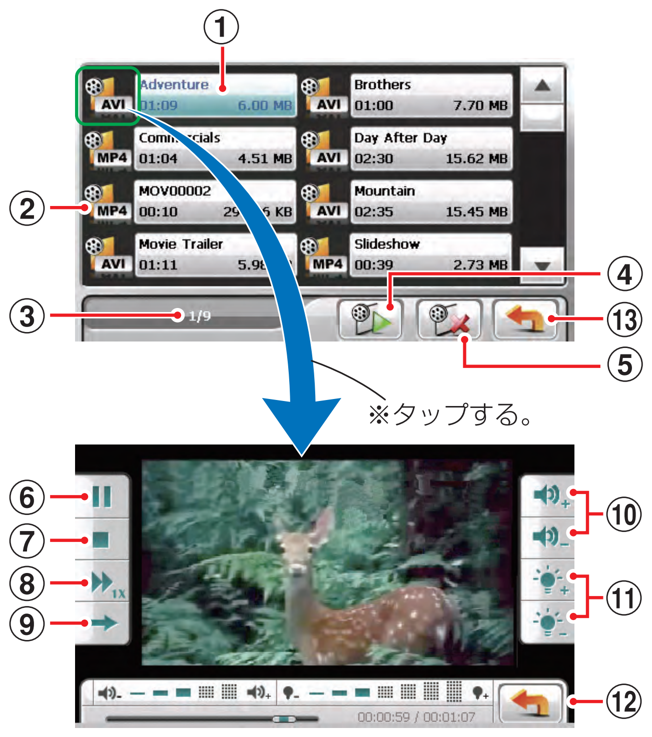
マルチメディアメニュー画面



SD/SDHC/MMC カードを挿入するには、本機の正面側にカードのラベルが向くようにしてスロットに入れてください。
カードを取り出すには、カードにアクセスしているアプリケーションがないことを確認してからスロットから引き抜いてください。

- 本機は、ドライブをもっとワクワクさせる地図コミュニティサイト「チズルとススム」からの地点登録に対応しています。SD カードに保存した「チズルとススム」の地点情報を本体にコピーすることができます。「チズルとススム」での地点情報の登録の仕方については、http://chizu-route-susumu.jp をご確認ください。

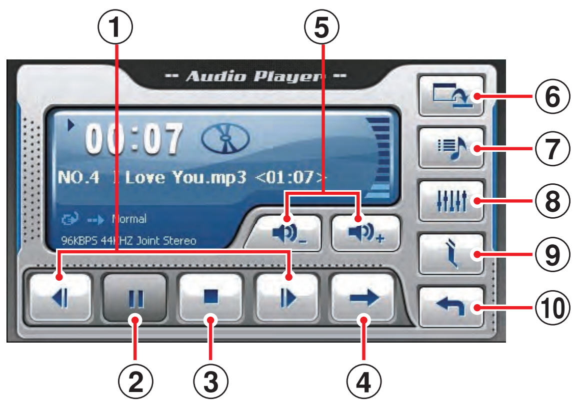
ビデオ



※タップする。

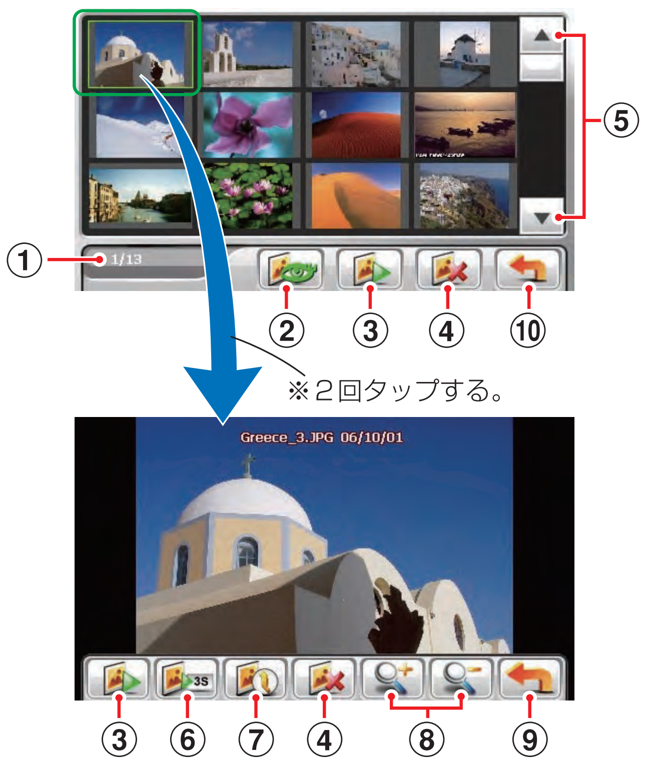
① 選択されたビデオファイルは色が変わります。
② ビデオファイルのフォーマットを表示します。
③ 選択されたファイル / 全ファイル数を表示します。
④ 選択されたファイルを再生します。
⑤ 選択されたファイルを削除します。
⑥ 再生 / 一時停止
再生または一時停止します。
⑦ 停止
再生を停止します。
⑧ 早送り
ビデオを早送りします。タップするたびに早送りのスピードが速くなります。
⑨ 再生モード
:一度だけ再生します。／ :繰り返し再生します。
⑩ 音量
音量を増減します。
⑪ 明るさ
ビデオの明るさ（バックライト）を増減します。
⑫ 戻る
再生を停止して、ビデオメニュー画面に戻ります。
⑬ 終了
アプリケーションを終了して、マルチメディアメニュー画面に戻ります。

オーディオ



① 前曲 / 次曲
前または次のファイルを再生します。
② 再生 / 一時停止
再生または一時停止します。
③ 停止
再生を停止します。
④ 再生モード
: 現在のプレイリストの全ファイルを順番に再生します。
: 現在ファイルを繰り返し再生します。
: 現在のプレイリストの全ファイルを順番に繰り返し再生します。
: 現在のプレイリストの全ファイルをランダムに再生します。
: 現在のプレイリストの全ファイルをランダムにサンプリング（10 秒間）再生します。
⑤ 音量
音量を増減します。
⑥ アプリケーションを終了せずにマルチメディアメニュー画面に戻ります。
⑦ プレイリスト
プレイリストを開きます。
⑧ イコライザ
イコライザパネルを開閉します。
⑨ Version 表示
オーディオプレイヤーのバージョンを表示します。
⑩ 終了
アプリケーションを終了して、マルチメディアメニュー画面に戻ります。

ピクチャー



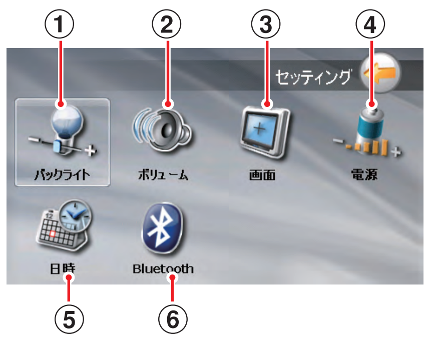
※2回タップする。

① 選択されたファイル／全ファイル数を表示します。
② 選択したファイルを開きます
③ スライド ショー
スライドショーを開始します。
④ 削除
現在の画像を削除します。
⑤ 前ページ／次ページ
⑥ 間隔
各スライドが表示されてから次のスライドに移るまでの時間を設定します。
⑦ 情報
ファイルの名前と日付の表示 / 非表示を切り替えます。
⑧ ズーム
ボタンを必要な回数タップすると、1.2x、1.5x、1.8x、2.0x にズームインします。
⑨ 戻る
サムネール表示に戻ります。
⑩ 終了
アプリケーションを終了して、マルチメディアメニュー画面に戻ります。

7 携帯電話機の接続のしかた

セッティングメニュー画面を表示させる

セッティング



① バックライト
バックライトの輝度を調整できます。
② ボリューム
音量を調整できます。
③ 画面
補正を開始します。
④ 電源
画面にバッテリの残量が表示されます。
⑤ 日時
日時が設定できます。
⑥ Bluetooth
電話メニューが表示されます。

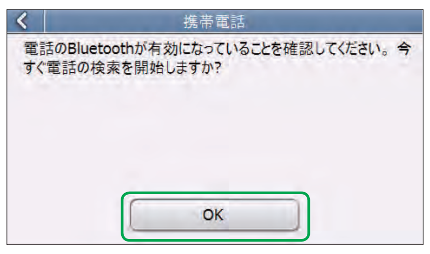
Bluetooth 対応携帯電話機を接続する

Bluetooth をタップします。

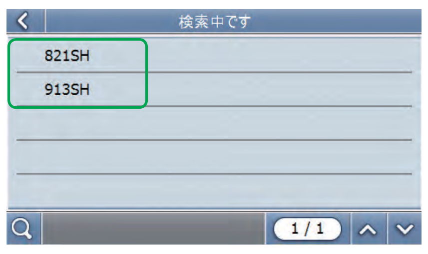
設定をタップします。

電話機を検索をタップして、接続可能な携帯電話機を検索します。

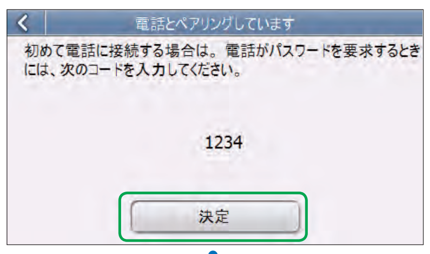
携帯電話機が接続待ちになっていることを確認してください。

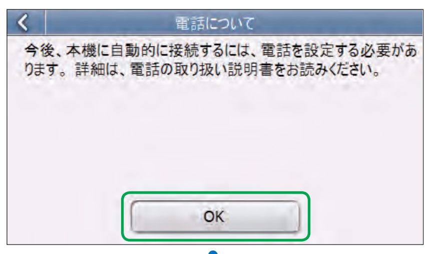


接続したい携帯電話機をタップします。



携帯電話機側でパスキー：1234 と入力します。
携帯電話機によっては、接続するためのハンズフリーサービスを選択する必要があります。





電話メニュー画面が表示されます。

メモ
- 携帯電話機によっては利用できる機能に制限があります。利用できない機能のアイコンはグレー表示されます。

Bluetooth 対応電話機を切断する

切断をタップする

メモ
- 接続可能な Bluetooth 対応携帯電話機については、クラリオンのホームページをご覧ください。また、お買い求めの販売店、お客様相談室にお問い合わせください。

詳しい情報については

詳しい操作説明やその他情報については、付属の DVD-ROM に収録されています取扱説明書をご覧ください

諸般の事情により、DVD-ROM 取扱説明書をご覧になれない方で、同内容の印刷版取扱説明書をご要望の場合は、右記までご連絡ください。

お問い合わせは、お客様相談室へ
フリーダイヤル：０１２０ - １１２ - １４０
（９：００～１２：００・１３：００～１７：３０／土・日・祝祭日を除く）

Printed in China 2008 年（平成 20 年）3 月